

地方史情報 152

2021年11月

地方史研究雑誌目次速報 飯澤文夫 編

*本誌に掲載した雑誌に関するお問い合わせは、発行元に直接お願いします。

北海道	1	富山県	31	兵庫県	51
宮城県	2	石川県	32	和歌山県	53
山形県	4	福井県	32	島根県	54
茨城県	5	山梨県	32	岡山県	55
栃木県	5	長野県	33	広島県	55
群馬県	6	岐阜県	38	徳島県	57
埼玉県	8	静岡県	39	愛媛県	58
千葉県	9	愛知県	41	福岡県	59
東京都	12	滋賀県	43	宮崎県	62
神奈川県	24	京都府	44	沖縄県	63
新潟県	29	大阪府	48	寄贈図書	63

北海道

◆アイヌ語地名研究会会報

〒001-0017札幌市北区北十七条西1丁目1-1 コーポ望 FAX011-728-6400
年5000円

◇84 2021.8 B5 8p

ナウケブは信仰地名一神に肉を捧げるための儀礼用具が地名に 中野 良宣
新刊紹介 『アイヌ語系地名総覧―青森から沖縄まで』 菅原進著 編・渡辺 隆

◆文化情報 北海道文化財保護協会

〒060-0002札幌市中央区北二条西7丁目 かでる2・7ビル9階
Tel011-271-4220 <http://hokkaido-bunkazai.jp>

◇385 2021.9 A4 8p

五輪と大通公園の野外彫刻群 「ケプロン之像」と「黒田清隆之像」

を背にした五輪モニュメント／有島武郎文学碑(1962年設置)など記
念碑も多い／万博旗掲揚ポールと本郷新「泉の像」(1959年設置) 寺嶋 弘道
「北海道・北東北の縄文遺跡群」世界文化遺産に！

北海道環境生活部文化局文化振興課縄文世界遺産推進室

福島町白符に伝わる郷土芸能「白符荒馬踊」	鈴木 志穂
奥野清介先生	野村 崇
シリーズ 伝える 篠路歌舞伎保存会～これから保存会が歩む道	大高 英男
まちのイチオシ 青苗遺跡と丁字頭勾玉の謎	稲垣 森太
ギャングレル屋根の納屋 社会活動の場としての歴史遺産	中野 良宣
博物館ひろば 天然記念物 スマタネズミイルカ	長野あかね
登録有形文化財(建造物) 根室国後間 海底電信線陸揚施設	
『続寿都歴史写真集 昭和21年～』 発刊	山本 竜也

宮 城 県

◆震災文庫だより 宮城県図書館

〒981-3205仙台市泉区紫山1-1-1 TEL022-377-8498 2020年創刊

<https://www.library.pref.miyagi.jp>

◇3 2021.9 A4 2p

東日本大震災文庫編

震災から10年を経て寄せられた資料

東日本大震災・福島第一原子力発電所事故

石巻市内で配られたガソリン券

仙台市内で配られた新聞号外

東日本大震災デジタルアーカイブ編

震災から10年を経てふるさとを視る

原稿を撮影しコンテンツに「あなたの「あの日の想い」「あの日からの想い」を伝えてみませんか。」

写真パネルを寄贈 「二管本部東日本大震災救援記録写真パネル展」

◆ナジェージュダ(希望) 石巻若宮丸漂流民の会

〒236-0052横浜市金沢区富岡西2-21-23 大島幹雄方 TEL045-773-4643

<http://deracine.fool.jp/wakamiya/>

◇46 (vol.20) 2021.8 A4 32p

《祝 設立20周年 石巻若宮丸漂流民の会》

石巻若宮丸漂流民の会設立20周年記念イベント

オンラインで結ぶ若宮丸漂流民世界一周の旅
2020年度石巻若宮丸漂流民の会オンライン総会報告

第1部 総会

第2部 「若宮丸の故郷を訪ねて」上映会 齋藤 博

2020年度総会番外編 インタビュー 津太夫子孫、寒風沢に生きる

ー加藤信助さんの挑戦 大島 幹雄

石巻若宮丸漂流民の会設立20周年に寄せて

私は『若宮丸』に乗った 久野 義文

“石巻若宮丸”は、静かに広がって

ー名取高校『環海異聞』パネル展訪問記 齋藤 博

若宮丸漂流民が生きた時代(2)ー小説「泳ぐ者」を読んで

女性の漂流記 木村 成忠

ねずみ、猫、そしてイカリの話 小林 郁

自著紹介 佐藤三寿夫

『『日本幽囚記』の世界ーアイヌシモリ・罪と罰・戦争と平和』 斉藤 智之

短信・コラム

若宮丸漂流民がテレビ番組に 木村 成忠

◆史の杜 上廣歴史資料学研究部門ニューズレター

東北大学東北アジア研究センター

〒980-8576仙台市青葉区川内41 TEL022-795-3140 2013年創刊

<https://uehiro-tohoku.net>

◇別冊3 2021.7 A4 4p

地域の歴史を知る 古文書からみた災害と須賀川

テーマ展：おもな展示資料 桑名家文書、小針家文書、廣田家文書

◆歴史 東北史学会

〒980-0862仙台市青葉区川内 東北大学大学院文学研究科 日本史研究室

TEL022-217-6064 年4000円 1949年創刊

<http://www.sal.tohoku.ac.jp/nihonshi/t-shigakukai/>

◇136 2021.4 A5 134p 2100円

後漢の「都督」ー都督制成立過程研究の前提として 青木 竜一

熊阪台州の思想形成と地域社会ー〈学者〉と〈豪農〉のあいだ 青野 誠

同交会の研究ー翼賛選挙を中心に 高島 笙

チェコスロヴァキア1927年地方財政法とドイツ人都市

ーヘブ市の事例をめぐって 渡邊 竜太

書評 兼平賢治著『近世武家社会の形成と展開』

清水翔太郎

紹介

金澤周作監修 藤井崇・青谷秀紀・古谷大輔・坂本優一郎・小野沢

透編著『論点・西洋史学』

帆北 智子

浪川健治編『明君の時代 十八世紀中期～十九世紀の藩主と藩政』片村 峰雪

2020年度東北史学会大会 講演要旨

中世の山形―近年の研究からの展望

伊藤 清郎

近世・近代転換期における村と地域社会

―出羽国村山郡の事例から

渡辺 尚志

山 形 県

◆村山民俗 村山民俗学会

〒990-0055山形市相生町2-10 岩鼻通明方 TEL023-623-5687 年3000円

1988年創刊 <https://blog.goo.ne.jp/murayamaminzoku/>

◇35 2021.7 B5 68p

肥前長崎から京都までの民俗誌―半沢氏「旅日記」中巻から

野口 一雄

民俗学からみた「疫病」退散祈願の諸相

菊地 和博

村山地方のアイヌ語地名(1) 寒河江・西村山

清野 春樹

日高見国と王祇神 平泉の「中尊寺以前」を考える

大江 良松

山形県寒河江市平塩のお塞神様祭りとは承についての一考察(後編)

荒井 久宣

フォーラム 日本遺産から世界遺産へ―その可能性を探る

岩鼻 通明

会の歩み―二〇二〇年度

◆山形史学研究 山形史学研究会

〒990-0021山形市小白川町1-4-12 山形大学地域教育文化学部 歴史学研究室

内 TEL028-628-4391 <https://ymgt-shi.jimdo.free.com>

◇49 2021.8 A5 64p

幕末期の生糸流通について

―米沢藩の生糸流通統制策と在郷商人の生糸取引

伊田 吉春

山形県の県都を建設したのは三島通庸か？それとも薄井龍之か？

小幡 圭祐

狩川城跡について―城跡及び狩川地区をめぐる雑考

須藤 英之

山形県満州開拓史研究の現状と課題

三原 容子

紹介 横山昭男著『近世最上川水運と西廻航路―幕藩領における廻米

輸送の研究』

梅津 保一

・20年度 山形史学研究会大会報告

茨 城 県

◆歴史文化研究(茨城) 歴史文化研究会(茨城)

〒270-0035千葉県松戸市新松戸南2-25-B 205 三石善吉方 TEL047-345-5323

年5000円 2014年創刊

◇8 2021.7 A5 188p

巻頭言 香港—強制的中国化の進行	三石 善吉
中国思想研究に見られる「概念実在論的思考」について	関口 順
天照にみる『新論』神儒の矛盾	吉田 俊純
御陵衛士 伊東甲子太郎の顕彰碑	千葉 隆司
フィンランドにおける捕虜問題	三石 善吉
阿里山中植民地時代の記念碑は、いま私達に何を語りかけているのか	

于 乃明

唯物史観とチュチェ思想—『資本論』の意義

鎌倉 孝夫

書 評

マルクス『資本論』の錯誤について—鎌倉孝夫『資本論エッセンス』

を読みつつ考える

平山 朝治

中島英介『近世武士道論—山鹿素行と大道寺友山の「武士」育成』

吉田 俊純

渡邊義浩『研究家の知られざる熱狂 三国志』

三石 善吉

古典抄 『藤岡屋日記』・雑記

鈴木 俊一

随想録

自然のエッセイ 梅と霧氷と

横川 俊夫

私と仏縁 思いつくままに

岩崎 久雄

京都大学からトンガ王国へ

高島 宏明

吾輩ハ犬デアル

白井 護

栃 木 県

◆歴史文化研究(栃木) 栃木県歴史文化研究会会報

〒320-0865宇都宮市睦町2-2 栃木県立博物館内 TEL028-634-1313

年4000円 1991年創刊

◇120 2021.7 A4 4p

《特集 古代下野国の成立と展開》

創立三〇周年記念大会によせて

山口 耕一

古代下野国と下野薬師寺の創建

山本 享史

新刊紹介 下野市立しもつけ風土記の丘資料館編『新・しもつけ風土

群馬県

◆ぐんま地域文化 群馬地域文化振興会

〒371-0801前橋市文京町3-27-26 群馬県立文書館内 TEL027-226-6246

1993年創刊 <https://www.gunma-chiikibunka.jp>

◇57 2021.10 AB 36p 300円

《新田荘 地域特集》

歴史を掘る

中里原遺跡 再葬墓出土の弥生土器

水田 雅美

新しい時代の共同教育学部・教職大学院と地域研究

藤森健太郎

石川薫記念地域文化賞受賞者特別講座(5) 要旨

火山灰でわかった群馬の自然災害

早田 勉

発掘情報 新田郡家跡の保存と活用

上野 優真

ぐんまの歴史入門講座

第222講 原始・古代

平安後期の上野国—藤原北家御堂流との結び付き

飯塚 聡

第223講 中世 新田荘の成立と発展

須藤 聡

第224講 近世

近世における新田郡武蔵嶋村—利根川洪水と川除普請

巻島 隆

第225講 近現代 中島飛行機から富士重工業・スバルへ

若林 宏宗

第226講 新田荘の石造文化財 石造文化財の見方(46)

秋池 武

古文書解説入門講座(44)—古文書から歴史を読む

長楽寺と金山城—『長楽寺永禄日記』から

近藤 聖弥

史跡をめぐる 新田荘遺跡の現状と課題

宮田 毅

ぐんまの人物誌 大谷道海と長楽寺再興

長谷川明則

ぐんまのくらしと民俗 岩松の殿様が描いた猫絵

須永 光一

地域文化Q & A

新田義貞はなぜ敗れたのですか？

久保田順一

ぐんまこどもの国児童会館かるたはどのように生まれたのですか？

久世 智哉

博物館・資料館訪問

史跡金山城跡ガイダンス施設

松澤 樹生

太田市の資料館等に見る日本史の中の新田荘地域

六原 雅己

研究・学習サークル活動紹介

新田荘史跡ガイドの会	石塚美恵子
高山彦九郎研究会	菅間 健司
一枚の写真から 一九六四年の聖火リレー(前橋市)	田中 尚
上州の関所と番所(2) 大戸・大笹・狩宿関所と草津温泉	岡田 昭二
礫石経の世界(3) 「観音堂跡経石集積地」のこと	唐澤 至朗
ぐんまの自然と風土 太田のやまといも	坂本 寛明

◆群馬地名だより 群馬地名研究会

〒379-2144前橋市下川町6-16 井野修二方 TEL027-265-3859 1989年創刊

◇99 2020.8 B5 8p

待矢場両堰用水の幹線・休泊堀一大谷休泊はどこを掘った	澤口 宏
水戸の小宮山楓軒が興味を持った地名	井野 修二

◆群馬文化 群馬県地域文化研究協議会

〒372-0831伊勢崎市山王町38-38 前澤和之方 年4000円 1957年創刊

<https://gunmabunka.org/wp/>

◇343 2021.8 A5 107p

研究大会誌上発表 《シリーズ 遺跡をめぐる地域社会史》vol.2

「水路遺跡の歴史民俗学」

伝承・史料から読み解く水路遺構

ー東京都府中市の「ムダ堀」を事例に

深澤 靖幸

未完成の灌漑用水路「女堀」ーその後の地域を考える

川道 亨

吾妻郡に残る中世の通水路跡「大堰」

山口 通喜

農業用水開削の伝承と歴史の再解釈

ー「右京の泣き堀」と榛名湖引水を事例に

和田 健一

下沼田氏と高野山清浄心院の関係について

赤見 初夫

群馬の歴史的建造物(4) 神社建築の見方

村田 敬一

新刊紹介

笹沢泰史著『鉄が語る群馬の古代史』

深澤 敦仁

野口周一著『新訂版 より良い保育・教育を求めて一本との出会い

・人との出会い』

阿久津 聡

口絵 白石村絵図一群馬県立歴史博物館蔵品資料(144)

佐藤 有

◆武尊通信 群馬歴史民俗研究会

〒372-0033伊勢崎市本町5226-12 永島政彦方 TEL0270-32-9070 1979年創刊

◇167 2021.9 B5 4p

群馬歴史民俗研究会創立四〇周年記念シンポジウムに参加して
シンポジウム「日記の歴史民俗学」参加記
『渋沢栄一日記』と江原芳平宛書簡

市東 真一
大貫 茂紀
須藤 聡

◆群馬歴史散歩 群馬歴史散歩の会

〒379-2154前橋市天川大島町317-1 TEL027-223-2785

年4500円 1973年創刊 <http://www16.plala.or.jp/kuzira226/>

◇268 2021.9 A5 57p

表紙写真・口絵 北海道中心標

見立八景一倉賀野八景

小宮山楓軒が書き留めた上野国(後)

歴史拾い読み 第四回

布施辰治一内山愚童一長加部寅吉を結んで(2)

『白衣観世音建立之趣旨』余話(5)一「石工 前橋市 大島忠三郎」

澁澤栄一翁と馬喰さつき

浅野総一郎と渋沢栄一

臨江閣別館地下のレンガ構造物

「ただごとうた」と「ふるさとうた」

井野 修二
今井 英雄
井野 修二

石山 幸弘
田口 正美
本多 優二
八高 久夫
井野 誠一
宮崎 嘉久

埼 玉 県

◆昔風と当世風 古々路の会

〒343-0027越谷市大房1006-4-410 津山正幹方 TEL048-976-9387 1973年創刊

◇106 2021.10 B5 178p

《五十嵐稔前代表追悼》

新潟県の民具とその周辺一鍬・鎌・背負運搬具

西石見吉賀町沢田の「大元申し」

一四〇〇年以上途絶えることなく継承された神事

地域の宝 福島民俗芸能を守るために

民俗芸能を継承するふくしまの会活動

「生めよ増やせよ」から「生むな、ふやすな」へ、そして……

一産婆・益永スミコさんに聞きながら考える

会津の八百比丘尼伝説

幕府滅亡後の渡辺真楫一明治前期北武蔵地方における動向

(ある国学者の近代 渡辺真楫)

民家の建築儀礼と大工の棟梁

五十嵐 稔

森岡 弘典

むらき 数子

小澤 弘道

関 廣好

津山 正幹

民俗学と研究会活動(7) 全国的民俗調査の実施Ⅱ

—いわゆる「海村調査」

今野 大輔

五十嵐稔前代表を偲ぶ

五十嵐先生に教えられたこと

森 隆男

五十嵐稔先生を悼む

森岡 弘典

五十嵐稔先生を偲ぶ

関 廣好

五十嵐先生を悼む

鈴木 秋彦

五十嵐さんの民具スケッチ

佐志原圭子

五十嵐稔代表の思い出

谷川 隼也

私はいつか五十嵐さんのようになりたい

下境 芳典

信愛なる五十嵐先生へ

茶谷まりえ

いつも笑顔で教えてくださった五十嵐さん

むらき数子

五十嵐稔前代表の『昔話と当世風』掲載執筆論文

会員からの追悼

秋田県北秋田市綴子地区合同調査 会長：森隆男 事務局長：津山正

幹 幹事：高橋進

千葉県

◆我孫子史研究 我孫子市史研究センター

〒270-1152我孫子市寿1-3-12 荒井方 TEL04-7182-2838

<http://abikosisiken.main.jp>

◇2 2021.9 A5 104p 909円

『我孫子史研究』2号刊行にあたって

岡本 和男

我孫子発 弥生文化を考える

中嶋 正義

茜津はいずこ、於賦はいずや—八世紀末の古代東海道と我孫子

星野 征朗

古代東海道の「於賦」の駅家を起点に相馬郡の官衙遺跡を考える

宗岡 恒雄

元文の手賀沼自普請(第三次開発)と井上佐次兵衛

清水千賀子

相島新田井上佐次兵衛の伊勢参りと西国の旅

阪本 功

江戸最後の与力・原胤昭鷺湖望郷

越岡 禮子

幕末から戦前にかけて布佐で活躍した仏師たち

—杉山林哲・宗哲・高野光慶とその後継者

飯白 和子

我孫子の正月行事「オビシャ」—年の初めのトウヤ引継の祭

近江 礼子

『将門記』王城の地 下総国の亭南について

山路 直充

活動の歩み 郷土資料センター設立推進会の歩み(2019～2021)

東 日出夫

◆我孫子市史研究センター会報

〒270-1152我孫子市寿1-3-12 荒井方 TEL04-7182-2838

<http://abikosisiken.main.jp>

◇230 (通537) 2021.8 A4 16p

お知らせ 9月末刊行予定の『我孫子史研究』2号

編集作業順調に進展

文責・飯白和子

歴史部会 6月の活動報告 「井上家文書で読み取る手賀沼自普請」

報告者・清水千賀子

古代史研究グループ 7月の活動報告

「我孫子古墳群について」(2)

報告者・星野征朗

古文書解読日曜部会 7月の活動報告 「正徳六申年・元文三午年・

安永八亥年御裁許書写」布佐石井家文書

鈴木江里子

古文書解読日曜部会報告(補足) 笠間から江戸までの交通路

白神 正光

歴史探訪部会 7月の活動報告

講演会 講師：村上智雅子会員 『流行感冒』とスペイン風邪

長谷川秀也

井上家文書研究部会 7月活動報告

No965(表紙欠、御用留 天明5(1785)巳年～寛政元酉年)

岡本 和男

古文書解読火曜部会 7月の活動報告

「寛政七年卯正月 御鹿狩三ノ手人足寄場揃場所附帳 根戸村」

古内 和巳

合同部会 6月・7月の活動報告

布佐台観音堂報告書、社寺調査(中峠地区)

山本 包介

1枚の写真から 資料2 石塔調査風景

2014歴史探訪部会「相馬霊場巡り湖北地区」

◇231 (通538) 2021.9 A4 10p

市民のチカラまつり2021年 展示部門に参加します

都部正泉寺と新木地蔵院の八万四千体地蔵

近江 礼子

古文書解読火曜部会 牧土用御用留帳に見られる「植林」について

阪本 功

◇232 (通539) 2021.10 A4 6p

会誌『我孫子史研究』2号 9月末 刊行

飯白 和子

会報版『我孫子史研究』2号編集後記(1) 編集作業から

谷田部隆博

「古文書解読火曜部会」うらばなし

古内 和巳

市教委 協議会傍聴

東 日出夫

◆佐倉の地名 佐倉地名研究会会報

〒285-0843佐倉市中志津6-21-13 田中征志方 TEL043-489-7439

年2000円 2012年創刊

◇27 2021.10 A4 16p

志津の地名について(16)	六、縄文の布 編布(アンギンと読む)	田中 征志
志津地区の地名「上峠」		松永 茂
「神門」地名を探る		山部 紘
弥富地区の小字地名の分類		小川 眞資
公園地名シリーズ 根郷地区の公園名の由来		小川 眞資
臼井地区の坂について 手繰坂(田久里坂・弥エ門坂)／寄宿の坂／台町の追分にある道標／道場作の坂／えんの坂／新坂／稻荷台の坂又は公園地の坂)／バッパの坂／長慶の坂／光勝寺の坂／八丁の坂／舟戸の坂と八幡の坂／ヤモチの坂／ハマトクの坂(野口の坂)／「大坂」が「大阪」になった訳		伊藤代々子

◆成田市史研究 成田市教育委員会

〒286-0017成田市赤坂1-1-3 成田市立図書館管理係市史編さん担当

Tel.0476-27-2533 1972年創刊

◇44 2020.3 A4 100p

戦後の三橋鷹女―『白骨』『羊歯地獄』『樵』の世界	川名 大
地形図からみる成田ニュータウンの変容	石毛 一郎
淀橋大橋陣屋の下総出身手代・使番について	鎗木 行廣
統計報告書からみる成田町	矢嶋 毅之
成田市史研究余話2	
成田市南三里塚宮原第1遺跡出土の石器(2)	小川 和博
御雇外国人アップ・ジョーンズ	小倉 博
房総の熊野三山信仰と大須賀氏	木村 修
「太田家文書」の伊勢御師龍大夫書状	外山 信司
国民精神総動員運動のなかの女性教員―諮問案などから	中村 政弘
「平成三十年度市史講座」明治を生きた旧幕臣とキリスト教	
一飯田栄次郎とその周辺	講師・樋口雄彦

資料紹介 文化元年船形村・台方村麻賀多大明神神主による大宮司職

号免許取得について

関 初弥

成田市史年表稿 2017(平成29)年

解説・矢嶋毅之

成田市関係新聞記事目録 2017(平成29)年

◇45 2021.3 A4 56+40p

巻頭カラー 資料紹介 成田参光協会について	矢嶋 毅之
資料紹介 村方における宗門改めと神職の意識と行動	
一麻賀多神社太田家文書より	関 初弥

令和元年度市史講座

宝治合戦と大須賀一族—政治史と律宗の房総進出について	講師・外山信司
成田市史研究余話 3	
成田市にみる旧石器時代の地層(火山灰とローム層)	小川 和博
成田市北羽鳥字瓦作採集の古瓦	高木 博彦
殖生次郎時常と父千葉常秀・兄秀胤—殖生神社神輿の奉納者と一族	木村 修
遊行上人の成田山参詣(市史研究41号より再掲)	小倉 博
成田村に出没した江戸町奉行所の同心	鎗木 行廣
大沢庄之助宛ての葉書から	矢嶋 毅之
町立成田実科高等女学校の「学校日誌」から戦時下を見る	中村 政弘
資料紹介 葉舟の父水野勝興と旧幕臣としての水野家	樋口 雄彦
資料紹介 成田市関連の地理学文献	石毛 一郎
成田市史年表稿 2018(平成30)年	解説・中村政弘
成田市関係新聞記事目録 2018(平成30)年	

東 京 都

◆明日を拓く／解放研究 東日本部落解放研究所

〒111-0024台東区今戸2-8-5 TEL03-5603-1863 1993年創刊

<http://www.hblri.org>

◇129・130 (47・4・5 212・213) 2021.9 A5 176p 2000円

小特集 川向秀武さんを偲ぶ

川向秀武先生に捧げる言葉	平井 明
川向秀武さんの思い出	片岡 明幸
川向秀武さんを偲ぶ	石川 亨助
資料 川向秀武さんの講演レジュメ	

特集 若手チームが訪ねる・聞く・学ぶ(1)

栃木県大平町を訪ねる 特集にあたって	編 集 部
オープニング	
栃木の解放運動と部落コミュニティ	戸田 眞
大平町のフィールドワーク	戸田 眞

若手チームの座談会 栃木県連(報告&ガイド) 戸田眞・戸田和子
 ／地元教員 柏瀬和彦・匿名希望・柏崎友洋／若手チーム 井上
 未葉・川口弘志・佐藤雄哉・白石杏・花堂柚紀／アドバイザー
 内田龍史／オブザーバー 村田浩司／事務局 井桁碧・鳥山洋・

吉田勉

栃木フィールドワークを振り返って ガイド：戸田眞／若手チーム：井上未菜／若手チーム：川口弘志／若手チーム：佐藤雄哉／アドバイザー：内田龍史／オブザーバー 村田浩司／事務局 井桁碧・鳥山洋・吉田勉

資料(1) 聞きたいこと・知りたいこと 事前のアンケートから
井上未菜さん／11/24の栃木フィールド・ワークの打ち合わせ会から

資料(2) 栃木フィールドワークについての簡単な予備知識

編集委員会より・新連載のお知らせ

編集部

ヒューマンライツ再入門・連載開始にあたって

やさしいのに理解されない人権

前田 朗

ヒューマンライツ再入門(1) 人として認められる権利

一世界人権宣言第六条を読み直す

前田 朗

講演「全国部落調査」復刻版出版事件裁判一経過と課題

川口 弘志

◆足立史談 足立区教育委員会足立史談編集局

〒120-0001足立区大谷田5-20-1 足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393

◇642 2021.8 A4 4p

八宗兼学のひろがり—江北船津家伝来の粉本資料より

加藤ゆずか

ここで見られる足立の資料 足立の資料が展覧会に出展されます！

本田家文書(郷土博物館寄託)、準構造船(足立区教育委員会所蔵)

あだち民具図典(8) ハエ取り棒

萩原ちとせ

はい、文化財係です。(30) 常善院不動明王像の胎内文書

佐藤 貴浩

◇643 2021.9 A4 4p

丹後宮津藩の書家、澤村墨菴の墓誌—伊興寺町・法受寺

文責・多田文夫

あだち民具図典(9) 蠅捕器

萩原ちとせ

はい、文化財係です。(31) 文化財保護指導員の役割

佐藤 貴浩

◆足立史談会だより

〒120-0001足立区大谷田5-20-1 足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393

◇401 2021.8 A4 8p

足立区教育委員会後援を頂きましたが、区民研究発表会 8月29日を延期し緊急事態解除後に改めて設定します。／研究発表会及び外の期日変更のお知らせ

7月区民教養講座 江戸っ子・戦國的自由主義者 河合栄治郎教授

松井慎一郎先生の講演
民主主義を見直そう 戦後の新教育指針(文部省資料昭和21.5.1)(13)

編・堀川和夫

夏季区民教養講座 七月四日 松井慎一郎先生のレジュメから
勝山準四郎氏「鷗外」17号から

江戸の売り声 宮田章司師匠を偲んで

相川謹之介

抄説・寺子屋の実態(2) 抄説・寺子屋の実態その一

安藤 義雄

◇402 2021.9 A4 8p

区教委後援 第15回区民研究発表会発表要旨紹介

発表会誌は「発表会当日」配布します

「千住宿歴史ウォークガイドブックを作成して」岡野進さんの発表
要旨／「花畑地域での土地区画整理事業とは？」土田秀夫さんの
発表要旨

八月一四日 NHKスペシャル「銃後の女性たち」の資料を残した
明治生まれの女教師 「一女性の明治大正昭和における婦人会活
動」唐沢邦子さんの発表要旨

「学童集団疎開の記憶と記録」—迎高西国民学校の事例 竹内秀夫さ
んの報告要旨／「七福神を巡りながら学ぶ千住の歴史」吉岡諭さ
んの報告要旨

民主主義を見直そう 戦後の新教育指針(文部省資料昭和21.5.1)(14)

編・堀川和夫

明治43年8月大洪水の惨状 北千住浸水家屋の悲惨の状 御礼

抄説・寺子屋の実態(3) 抄説・寺子屋の実態その一

安藤 義雄

◆あるむぜお 府中市郷土の森博物館

〒183-0026府中市南町6-32 TEL042-368-7921 1987年創刊

<http://www.fuchu-cpf.or.jp/museum/>

◇137 2021.9 A4 8p

復元建物、郷土の森に建つ(2) 旧府中町役場庁舎

佐藤 智敬

最近の発掘調査 国府以前 飛鳥時代の役所か？ 八幡町二丁目

湯瀬 禎彦

NOTE 府中町役場庁舎の洋風瓦

深澤 靖幸

府中の史料に見る 江戸時代の流行病(6) 江戸や府中のコロリ情報

花木 知子

園内植物探訪(1) 地獄花は秋の七草？

中村 武史

太陽系惑星ツアー(2) 金星の探査機は巨大な鉄球？

小林 善紹

◆板橋史談 板橋史談会

〒174-0075板橋区桜川2-27-3 大澤鷹邇方 FAX03-5922-6460

1966年創刊 <https://sites.google.com/view/itabashishidankai/home>

◇309 2021.8 B5 40p

表紙写真解説 秋祭り 天祖神社(板橋区南常盤台二丁目四番三号)

撮影日:2018年9月23日

写真と文・井上富夫

橋をめぐる民俗(1) 渡り初め

松崎 憲三

常盤台天祖神社文書について(6)一昭和二十二年天祖神社実測位置図

小林 保男

武蔵国豊島郡蓮沼村金剛院の廃寺とその歴史的背景(3)

井上 富夫

区政つれづれの記(5) 福祉編(2)

松浦 勉

ひろば 西洋流火術鉄砲隊保存会がNHKに協力

中村 正宏

総会資料

事務局

史談会のあゆみ(令和3年4月~8月)

各部

◆奥武蔵 奥武蔵研究会

〒175-0092板橋区赤塚7-18-7 <https://www.okumusashi.club>

◇440 2021.7 B5 24p

昨今の奥武蔵の山々について思うこと

小泉 重光

清雲寺の惨劇

小泉 重光

日本煉瓦製造株式会社専用線(2)一専用線終焉から今日に至るまで

野口 実

野生からのメッセージ和名倉山から

矢口 益男

想いでの中藤本さん(続1)

藤本一美氏のひと言から始まった (仮称)平九郎みち探索

町田 尚夫

白髪岩の珍しい三角点『原三角測点』

吉田美知子

秩父札所巡り・児玉霊場巡りに参加して

中塚智恵美

山行報告

大野峠越え

小泉 重光

大平山と嵐山溪谷

斎藤 慶広

箱根 浅間山・塔ノ峰

加藤 恒彦

児玉三十三霊場めぐり(6)

西東 昭夫

丸山から金昌寺

村木 悦子

◇441 2021.9 B5 22p

3500回の会山行を迎えて

小泉 重光

秩父・奥武蔵の石灰焼(前編)一その歴史と跡地を尋ねて

野口 実

想いでの中藤本さん(続2) 藤本一美氏が描いた顔振峠の展望画

町田 尚夫

清雲寺の惨劇(2)

小泉 重光

稲沢山ハイキングコース紹介	中塚智恵美
山行報告	
児玉三十三霊場めぐり(7)	西東 昭夫
伊豆ヶ岳	河野 尚久
上野毛から九品仏	岡野 守
白谷沢	岡野 守
妙法ヶ岳	加藤 恒彦
読図山行・滝ノ入不動から行風山	吉田美知子

◆北区史を考える会会報

〒114-0023北区滝野川3-43-10-301 有馬純雄方 TEL03-3917-8115	1986年創刊
◇140 2021.5 B5 10p	
明治大正の日記から読み解くもの	榎本 龍治
第450回 月例研究会	
しほんぎからよもとぎへ 名前が化けた四本木稲荷	有馬 純雄
美術史理解のために	
鎌倉・京都・奈良 そしてイタリアを巡って思ったこと	室岡 裕之
子供の頃、遊んだ近所の渋沢さん	伊藤 紀之
十条の70年くらい前の話	馬場 永子
私の幼年期(2)……疎開体験	川上 明

◆儀礼文化ニュース 儀礼文化学会

〒160-0012新宿区南元町13-7 TEL03-3355-4188	
◇223 2021.9 A4 8p	
儀事スケッチ 和歌山県御坊市小竹八幡神社秋季例祭	
人を見たけりゃ御坊祭	写真と文・久保田裕道
令和三年度社員総会開催される 新会長に九條道成氏	
新会長就任のご挨拶	九條 道成
社員総会では三議案が可決 中島精太郎前会長は顧問に	栗田恵津子
特集 シリーズ・儀礼文化のいま 第3回「茶道文化のいま一大日本	
茶道学会一」 お話・大日本茶道学会会長 田中仙堂氏	
聞き手・久保田裕道／写真提供・公益財団法人三徳庵	
儀礼文化アーカイブ 第6回地方大会 北陸の信仰と歴史を探る	松崎 睦彦
儀礼文化を語る 煎茶 第2回儀礼文化講座 「小川流煎茶の趣」	小川 後楽

◆杉並郷土史会史報

〒167-0022杉並区下井草3-12-9 新村康敏方 1973年創刊

<http://www.sugi-chiiki.com/rekishikai/>

◇288 2021.7 A4 12p 400円

万葉歌碑とからむし織り

佐藤 高志

杉並のむかし動画「善福寺川のカワウソ」公開

波巖・編集記

唐干田・大唐田などの周辺(1)

菅野 郁雄

◇289 2021.9 A4 12p 400円

聞き書き「荻窪の昔」(6) 村上光雄さんの話／川村幹夫さんの話(杉並中部教会)／清水實さんの話／仲丸泰次さんの話(仲丸金物店)／宇田川康さんの話(坂上屋酒店)／須田忠信さんの話(春日屋文具店)

新倉 毅

小金井市関野町のむかし(古老からの聞き書き)

真板 道夫

私の本棚から(59)『江戸東京 ご利益事典』

著者・長沢利明 笠間書院

新村 康敏

訃報 原田弘前会長 逝去

新村 康敏

◆西郊民俗 西郊民俗談話会

〒112-0005文京区水道2-3-15-403 小池淳一方 年2000円 1957年創刊

<http://seikouminzoku.sakura.ne.jp>

◇256 2021.9 B5 29p

母より聞きし昔話

一福島県南相馬市鹿島区南海老 佐々木タケノの語り 佐々木長生／久野俊彦

農作業の中の一休み(小休止)のこと－イップクするということ 井田 安雄

茨城県龍ケ崎市大徳町関区の「オビシャ」とさまざまな信仰 近江 礼子

リセットとしての自治会の解散－茨城県猿島郡境町の事例 印出 隆之

◆世田谷区誌研究会会報

〒158-0094世田谷区玉川3-30-5 野岸敏雄方 年2000円

<https://setagaya-kushiken.jimdofree.com>

◇8月号 2021.8 A4 6p

「せたかい71号」発行

紹介する書籍 世田谷区内図書館で閲覧・貸出し可能 なぞなぞウォーキング③『等々力溪谷・野毛大塚古墳』世田谷区教育委員会発行
／なぞなぞシリーズ ①大山道 2019年、②かつての川一次太夫堀 2020年

世田谷の民話(7) 品川寄木の浜から観音様をいただく／現在の民話
のふるさと 無量寺(世田谷区用賀四丁目)、寄木の浜(品川区東品
川) 作者・桜井正信

世田谷の民話(8) はたろの光で女が掘る用水／現在の民話のふるさ
と 六郷用水(丸子川) 作者・桜井正信

◇9月号 2021.9 A4 2p

7月に「せたかい71号」発行

世田谷の民話(9) 作者・桜井正信

世田谷の民話(10) 作者・桜井正信

◇10月号 2021.10 A4 8p

紹介する書籍・世田谷区内図書館で閲覧・貸出し可能 世田谷女性史

(上)(上町 大場家の女性たち) 編集・発行：世田谷区教育委員

会、世田谷代官大場家の歴史 編集：世田谷区立郷土資料館、世田

谷女性史(下)(幕末期の太子堂村と妻たちの生涯) 著者：森安彦

発行：世田谷区教育委員会 昭和61年発行

会員の広場 私も語り部 疎開の話 市川 博正

世田谷の民話(11)

等々力地頭山の名医女狐と語る／あばれ多摩川 武蔵国 作者・桜井正信

世田谷の民話(12)

吉沢のかわうそが大魚でお見舞い／現在の野川 作者・桜井正信

◆せたかい 世田谷区誌研究会

〒158-0094世田谷区玉川3-30-5 野岸敏雄方 年2000円 1951年創刊

<https://setagaya-kushiken.jimdofree.com>

◇71 2021.7 B5 96p 1000円

「せたかい」71号発刊にあたって コロナ感染症の状況下で

野岸 敏雄

世田谷線・沿線各駅散歩道(6) 宮の坂(2)

中村 甲

「SDGs」の先端を走る世田谷線

編集部

国分寺崖線と世田谷の中世城館

寺田 良喜

中世 井伊氏の居城跡 見聞記

薄井 恒雄

世田谷と蒔田の勝国寺

小林 勲

さぎ草物語について

古我 照彦

ダイダラボッチ広場開場記念にあたり

「巨人伝説読本 代田のダイダラボッチ」

きむらけん

地元を守る寺社を巡る「善養密寺」

天海 敏彦

瘡守稲荷神社と鎮守の杜

高橋 知明

学童集団疎開の記憶を探る

大山道の道辺の石佛

大山信仰と日本人

大山街道と伊能忠敬測量隊

山岳信仰と私

大山女坂の七不思議

世田谷区内の大山街道の変遷

玉川上水実地踏査学習会

新川陽一前会長を偲んで

深悼 朋友阿部正興君を偲ぶ

編集部

角田 芳正

新庄 靖弘

高橋 健

矢頭 誠一

松本 龍雄

別宮 通孝

学習会玉川上水G.

市川 博正

奥野 徳男

◆大道芸通信 日本大道芸・大道芸の会

〒157-0061世田谷区北烏山2-3-9-101 光田憲雄 TEL03-3307-2146

<http://daidogeinfo>

◇357 2021.8 A4 2p 100円

薬売りから幕臣へ 最上徳内出世咄

取替平

◇358 2021.9 A4 2p 100円

江戸の生業 下掃除／塩や／空樽買／木拾ひ／眼鏡印判墨／らうの源
／油売り／七ツ坊主／鎌倉節の飴売り

◆多摩のあゆみ たましん地域文化財団

〒186-8686国立市中1-9-52 TEL042-574-1360 年600円 1975年創刊

<https://www.tamashin.or.jp>

◇183 2021.8 A5 120p

《特集 多摩の銭湯》

銭湯のはじまり 江戸・東京・三多摩の銭湯

多摩地域における浴場業の展開—明治期から昭和戦前期を中心に

立川湯屋敷 梅の湯のあゆみ

松の湯のあゆみ

のぼり湯のあゆみ

読む展覧会 特別展「ぬくもりと希望の空間～大銭湯展」紙上編

多摩地域の銭湯(東京都浴場組合)

洋風建築への誘い(72) 戸倉城山の水 野崎酒造 あきる野市

建物雑想記(67) 公共集合住宅からマンションへ

古文書は語る(59) 政権交代期の治安維持に関わる不幸な出来事

町田 忍

吉田 律人

佐伯 雅斗

小嶋 宏和

島田 敏生

小林 愛恵

伊藤 龍也

酒井 哲

一吉野家文書「盗賊四人討取り届書」より	馬場 憲一
多摩の金融史(17) 多摩農業銀行の設立と立川進出	小島 庸平
多摩の歴史を立体視！一赤色立体地図の風景(10) 砂川用水路の変遷	小坂 克信

本の紹介

武蔵野市立武蔵野ふるさと歴史館編『アメリカが見た中島飛行機— 米国国立公文書館資料の翻訳を通して』	牛田 守彦
村野日誌研究会・町田市立自由民権資料館編『村野日誌 1 明治四 十二—四十四年』	浅井 良亮
城川隆生著『丹沢・大山・相模の村里と山伏～歴史資料を読みとく』	大野 一郎

◆多摩地域史研究会会報

〒207-0033東大和市芋窪4-1735-1-103 梶原方 1991年創刊
<http://tamatischen.web.fc2.com>

◇146 2021.9 B5 16p

多摩地域史研究会発足30周年記念に寄せて

八王子市小宮町に残る伝承と戦国期の栗之須村	梶原 勝
武蔵村山市内野家所蔵の「中万」徳利について【資料紹介】	
一多摩地域史研究会30周年記念に寄せて	内野 正
思い出の記	近辻 喜一
池田昇氏と日の出町史編さん	保坂 一房
在野の精神	外池 昇

新刊紹介 岩田基嗣著『改訂版 異説 多摩川上流水源地の歴史 増
補第二版』／地域史情報室

◆伝 え 日本口承文芸学会

〒182-8525東京都調布市緑ヶ丘1-25 白百合女子大学人間総合学部 間宮史子
 研究室 TEL03-3326-5144 年4000円 1987年創刊 <https://ko-sho.org>

◇69 2021.9 B5 10p

口承文芸研究の現代的課題	中川 裕
第77回例会報告 東日本と西日本の西行伝承	佐藤 優
公開講演 渡邊浩司氏「妖精モルガリーヌと妖精メリュジーヌ—ケル トの大女神の化身たち」	加藤 耕義
第45回日本口承文芸学会大会・報告	
公開講演	

三浦佑之氏「出雲神話の女神たち」

中川 裕

小澤俊夫氏「昔話の再話についての検討」

加藤 耕義

研究発表報告

第1部 鈴木麻位子氏「千葉県東金市の雄蛇ヶ池にまつわる伝承
—大蛇伝説・オオマリコケムシの話を中心に」、玉水洋匡氏
「松尾芭蕉誤伝句の在地伝承化と句碑建立—現存する芭蕉誤伝
句を基にして」、富樫晃氏「小浜発八百比丘尼伝説の伝播—空
印寺と神明宮の異なる伝播と各地伝承への影響」

小池 光夫

第2部 蒙古貞夫「モンゴルの口承文芸ホーリンウリゲルの語り
方に関する考察」、安田千夏「アイヌ口承文芸にみるキツネ神
の色」

藤井 真湖

第3部 藤井倫明「坪田譲治の「タニシ」、佐藤喜久一郎「学
校の怪談」の記憶とそのリアリティー—「先生が教えてくれた話」
をめぐって」

飯倉 義之

シンポジウム報告「神話と昔話—女性神をめぐって」 北原モコ
ットゥナシ氏「アイヌの火神はなぜ老婆なのか」、沖田瑞穂氏
「『マハーバーラタ』におけるマードヴィーに見る少女と母の一
体性について」、坂井弘紀氏「中央ユーラシアの女神・女戦士」

間宮 史子

◆東京産業遺産学会 NEWSLETTER

〒174-0046東京都板橋区蓮根2-29-10 新蓮根団地105 多田統一方 FAX03-
3964-8548／〒352-0011埼玉県新座市野火止4-8-43 柚須紘一方 FAX048-479-
7490 年2000円 <http://tias3.web.fc2.com>

◇149 2021.7 A4 6p

報告 見学会「日光街道2番目の草加宿を訪ねる」

文・写真 堀内仁之

2021年7月11日オンライン講演要旨（別紙「日本の主要な保存船舶」）

日本の保存船舶—現状と課題

中川 洋

文献紹介 『鉄道歴史散歩 東京・関東編』 竹内正浩著

多田 統一

旧井笠鉄道の木造客車が足尾トロッコ館に搬入

文・写真 長谷川景一

茨城県常陸太田市の赤煉瓦建築物(3)

旧稲田家住宅赤煉瓦蔵(3)

文・写真 八木司郎

◇150 2021.9 A4 4p

本会初のオンライン講演会「日本の保存船舶—現状と課題—」を受講
して

柚須 紘一

佐久発電所と顕彰碑

長谷川福次

茨城県常陸太田市の赤煉瓦建築物(4) 旧町屋変電所(1) 文・写真 八木司郎

◆日本民俗音楽学会会報

〒190-8520立川市柏町5-5-1 国立音楽大学 山本幸正研究室気付

TEL042-590-0223 <http://www.s-jfm.org>

◇55 2021.7 B5 20p

巻頭言 都市の祭り「徳島阿波踊り」の苦悩

岩井 正浩

第34回京都大会のご案内

北見真智子

2019年・2020年度を振り返って

コロナ禍等の2年間：理事各位の献身的な努力

星野 紘

任期を終えて

岡部 芳広

第12回民俗音楽研究会報告

第12回民俗音楽研究会報告

萬 司

基調講演

長崎の明清楽における合奏の導入

山野 誠之

かくれキリシタンからポスト・キリシタンへ

小泉優莉菜

長崎の芸能と文化遺産

水嶋 英治

研究会参加記

第12回民俗音楽研究会に参加して

児玉絵里子

Web 研究会の次は何としても長崎へ

大久 聖子

発表余話

小泉優莉菜

カメラリポート

撮影 川崎瑞穂・萬司

会員の広場 コロナ禍のなかで響いた掛唄

梶丸 岳

図書紹介

民謡研究のススメ 島添貴美子著『民謡とは何か?』

島添貴美子

日本とアジアの口琴 日本民俗音楽研究所紀要

日本民俗音楽研究所編『日本民俗音楽研究所紀要』第1号

小島 美子

常置委員会からのお知らせ

機関誌編集委員会

尾見 敦子

調査・研究委員会

萬 司

行事企画委員会

北見真智子

会報編集委員会

磯田三津子

◆練馬区地名研究会会報

〒176-0014練馬区豊玉南3-24-4 飯塚芳男方 TEL03-3992-0264

年2500円 1987年創刊

◇131 2021.7 B5 4p

地名に宿る「地霊」のちから―土地を守護する霊力

西島 幸夫

◆東村山ふるさと歴史館だより

〒189-0021東村山市諏訪町1-6-3 TEL042-396-3800 1997年創刊

◇68 2021.6 A4 4p

特集 天災と東村山 武蔵野新田と養料金制度／東村山地域の養料金制度 宝暦4年「武蔵野新田麦作肥代御貸付小前請取印形帳」(小町家文書)、宝暦12年「多摩郡廻り田新田雑穀御返納小前帳」(小町家文書)、宝暦2年「御養料穀返納引延願」(小町家文書)／寛政の改革と貯穀制度 寛政6年 御囲稗穀取集高書上帳／天災と地域社会

(今村)

復活した多摩湖駅―さようなら 西部遊園地駅

(松崎)

むらやま茶屋 縄文人の祈りのかたち―土偶

(銀持)

◆民衆史研究 民衆史研究会

〒162-8644新宿区戸山1-24-1 早稲田大学文学学術院 藤野裕子研究室研究室
気付 1962年創刊

◇101 2021.8 B5 104p 1750円

小特集 「『荘園調査』の現在地」から10年後

特集にあたって

民衆史研究会委員会

2021年段階における現地調査の方法と実践

―滋賀県甲賀市水口地域の調査を事例として

土山 祐之

湧水は中世景観を語るのか

―滋賀県甲賀市水口町の現地調査と山中氏両惣領家

渡邊 浩貴

史料紹介 埼玉県児玉郡本庄町芸娼妓酌婦関係史料(一)

―昭和六・七年「雇傭紹介周旋簿」

解題 袁甲幸／翻刻 櫻井麻緒・和田健太郎・藤井なつみ

書 評

吉村武彦・吉川真司・川尻秋生編 シリーズ古代史をひらく『古代

の都―なぜ都は動いたのか』

國下多美樹

窪田涼子著『中世在地社会の共有財と寺社』

若林 陵一

香西豊子著『種痘という〈衛生〉 近世日本における予防接種の歴史』

永野 正宏

望月良親著『日本近世社会と町役人』

高山 慶子

趙景達著『近代朝鮮の政治文化と民衆運動 日本との比較』

今西 一

志村真幸著『熊楠と幽霊』	田部井隼人
新刊紹介・その他	
野村孝一著『銀座、祝祭と騒乱 銀座通りの近代史』	佐々木千恵
藤野裕子著『民衆暴力―一揆・虐殺の日本近代』	野間 龍一
会務記録 2020年度総会の記録	民衆史研究会委員会

◆民俗音楽研究 日本民俗音楽学会

〒190-8520立川市柏町5-5-1 国立音楽大学 山本幸正研究室気付

TEL042-590-0223 <http://www.s-jfm.org>

◇46 2021.3 B5 60p

ブータン西部ハ県のあそび歌ツァンモ民俗信仰との関係性 黒田清子／伊野義博
佐賀県内に伝承される鉦のアンサンブルの研究 古澤 瑞希

〈2020年度 機関誌編集委員会 特別企画「民俗音楽と新型コロナウイルス」〉

機関誌編集委員会 特別企画

「民俗音楽と新型コロナウイルス」について 山本 陽子

紙上学会ノススメー会誌第54号特集『疫病と民俗音楽』に添えて 上西 律子

2020年度 機関誌編集委員会特別企画

公開座談会「民俗音楽と新型コロナウイルス」

第1部 疫病と音楽

「疫病送りの音楽の特性」移動の音楽・あんば囃子 入江 宣子

「疫病送りの疱瘡踊り・獅子舞」 星野 紘

コロナ禍の現状報告 小岩秀太郎

第2部 意見交換会 司会・山本陽子

2020年度 日本民俗音楽学会活動報告

神奈川県

◆厚木市史たより

〒243-0018厚木市中町3-17-17 厚木市教育委員会文化財保護課

TEL046-225-2060 2010年創刊

◇25 2021.8 A4 4p

古代(七世紀後半)の評の設置と分割―愛甲郡の成立を考える 鈴木 靖民

◆うまゆみ 日本騎射協会

〒240-0107横須賀市湘南国際村1-15-3 宮川昇方 2020年創刊

<http://mgl-f.sakura.ne.jp>

◇3 2021.7 A5 15p

日本のスポーツ史にみる馬術文化の伝統性と現代
弓と禪とフィールドアーチェリー
遠矢射る神と地上の射手

山田 理恵
権藤 学司
村井 文彦

◆小田原市郷土文化館研究報告

〒250-0014小田原市城内7-8 TEL0465-23-1377 1967年創刊

◇57 2021.3 A4 51p+ 600円

複数の主郭を持つ城—小田原北条氏の領国支配と城郭構造
石工・香川松之助の仕事と大井町山田の石材
湯河原町の採石丁場跡の現況とその考察
中世の採石遺跡からみる石材利用—関東地方を例に
中里遺跡出土石器の検討—小田原市最新出土品展2020「中里遺跡の
“弥生的”生活の始まり”補遺

佐々木健策
一寸木 肇
渡部 孟
佐々木健策
土屋 了介

◆かまくら女性史の会 Newsletter

〒248-0012鎌倉市御成町18-10 NPOセンター鎌倉気付 メールボックス26
2013年創刊 <https://kanagawajoseishi.jimdofree.com>

◇87 2021.9 A4 2p

白井京子さんを偲ぶ 市民懇代表 田川陽子／元ベルの会 守屋照子／
曾原糸子／本多順子／前田セツ／山根信子／横松佐智子
シリーズ：私たちの「戦争体験」(11)

第2話「相模湾の本土防衛」 清田昌弘(故人) (石崎)
地域女性史研究会 第16回例会(神奈川)準備 (高階)
三枝仁子さんの新聞記事 (横松)

◇88 2021.10 A4 2p

自民党総裁選をめぐる 多和田真理子
シリーズ：私たちの「戦争体験」(12)
第3話「横須賀海軍工廠深沢分工場」 清田昌弘(故人) (石崎)
市民の図書館・鎌倉市立図書館の危機！ (曾原)

◆京浜歴科研年報 京浜歴史科学研究会

〒233-0006横浜市港南区芹が谷5-59-12 大湖賢一方 TEL045-825-3736
1987年創刊 <https://www.rekikaken.org>

◇33 2021.2 B5 65p

巻頭言 『佐久間権蔵日記』に見るスペイン風邪の流行 伊東 富昭

トクヴィルとヘンダーソン『朝鮮の政治社会』	青山 文久
授業実践「まちづくりを考える」	大湖 賢一
池田使節団のフランスでの見聞と交渉	
―幕府とフランスとの関係強化への道	塚越 俊志

◆首都研ネットワーク 首都圏形成史研究会

〒231-0021横浜市中区日本大通3 横浜開港資料館内（事務局：西村健）

TEL045-201-2169 年3000円 <http://shutokenshi.org>

◇90 2021.9 B5 4p

研究例会 第118回例会 オンライン例会（Zoom） テーマ：明治43年

大水害研究の課題 「明治43年大水害研究の成果と課題」上田宏成、

「横浜の関東大水害―『横浜貿易新報』の分析を中心に」吉田律人、

「山梨県明治43年水害―明治40年水害との関わりと『峡中新報』

の分析を中心に／次回の研究例会 第119回例会

小研究会の活動状況 首都西郊研究会、首都圏災害史研究会、マイク

ロヒストリー研究会、戦後首都圏検討会

◆日本の石仏 日本石仏協会（発売：青娥書房）

〒254-0031平塚市天沼7-59-305 TEL0466-24-0203 年8000円

1977年創刊 <http://sekibutukyokai.jp>

◇174 2021.8 A5 64p 2000円

表紙の写真 阿弥陀岳の阿弥陀如来 長野県茅野市の八ヶ岳

写真と文・田中英雄

特集 山の石仏

山の薬師一峯・温泉・東北の山・羽山・米山

田中 英雄

秋田県太平山三吉大神をめぐる

中森 勝之

禁芸碑の分布をめぐる一報告―最勝寺真高寺の「禁芸術売買輩」から

星野 岳義

巡拝供養塔の諸相―埼玉の事例から

南川 光一

石仏探訪 2021年干支の牛石像を訪ねて

長島 誠

本邦石造物研究の歴史(2) 幕末より大正中期の研究者

嘉津山 清

石仏の風景(1) 坂口和子さん名誉会長ご就任にあたって

小坂 泰子

あ・ら・か・る・と―私の石仏案内

湖鯉供養塚 秋田県男鹿市船越字八郎谷地 八龍神社

高橋 弥生

守屋貞治・佐羅陀山地蔵菩薩 長野県箕輪町木下 法界寺

下平 武

後藤義光の延命地藏 千葉県南房総市大井 大徳院

三明 弘

日本石仏協会主催 2022年「石仏写真展」作品募集

誌上講座 石仏入門(28)「日本石仏図典」補足・Ⅱ

門間 勇

会員の広場

小江の赤観音(長崎県諫早市高来町)

中野 高通

坂上高道の墓碑(宮城県石巻市)

榊田 大力

石仏談話室／石仏交流

コラム 青森・堂ヶ平山の山の神

田中 英雄

◆年報 首都圏史研究 首都圏形成史研究会

〒231-0021横浜市中区日本大通3 横浜開港資料館内(事務局:西村健)

TEL045-201-2169 年3000円 <http://shutokenshi.org>

◇10(2020)2021.6 A4 75p

東京新市域(荏原区)における町内会の創設過程

白木澤涼子

特集 コロナ時代の歴史資料をめぐる現場—首都圏の事例

特集にあたって

松本 洋幸

神奈川県立歴史博物館における展覧会の中止とその対応

武田周一郎

コロナ禍における自治体史編さん支援—学校調査の現場から

吉田 成孝

コロナ禍におけるアーカイブズの取り組み

中村 崇高

コロナ禍でいかに活動を継続するか

—砂川闘争65周年記念集会を事例に

高原 太一

コロナ禍と博物館実習

松本 洋幸

書 評

櫻井良樹編著『幕末・明治の茶業と日米交流—中山元成とG・R・

ホールを中心に』

落合 功

鈴木勇一郎著『電鉄は聖地をめざす—都市と鉄道の日本近代史』

恩田 睦

源川真希著『首都改造—東京の再開発と都市政治』

手塚 雄太

首都圏形成史研究会活動報告 第113回例会 シンポジウム「地域資

料から近現代史を描く—北総地域の事例から」

日記から見る地域の生活

中澤 恵子

狩野揆一郎の政治活動—明治20年代前半を中心に

矢嶋 毅之

「旧佐倉町の祭礼用具」の継承からみる佐倉の近現代と地域文化財

の保存・活用

須賀 隆章

中澤報告・矢嶋報告・須賀報告を聞いて

堀野 周平

シンポジウム「地域資料から近現代史を描く—北総地域の事例から」

宮間 純一

首都圏形成史研究会活動報告 第114回例会

厚木市中央通り防災建築街区の成立と変遷

―戦後都市の近代化とその遺産

あつぎ郷土博物館ができるまで―博物館設置と市民意識

海老澤模奈人

大野 一郎



＊これまでも、東京都『多摩のあゆみ』や埼玉県『埼玉地方史』などから、コロナ下における地方史研究と歴史資料保存機関の動向を紹介してきたが、多くの地方史研究雑誌でそうした記事が頻出しており、今後も意識的に目を向けていきたい。

本誌の特集は、神奈川県立歴史博物館における展示会中止に伴う借り受け資料の返却とホームページ公開への切り替え、複数の自治体から自治体史編さん事業の教育史部門を請け負っているTRC-ADEACの資料収集・整理作業、国際公文書館会議(International Council on Archives)が提唱するコロナ下におけるアーカイブズの活動に関する一般原則に基づく北海道・浦幌町立博物館などの活動、砂川闘争65周年の現地集会開催に至る過程と課題、大正大学芸員養成課程における博物館実習の様子など、いずれもコロナ下で苦悩し工夫する現場の対応を、当事者がつぶさに明かしたもので、実務担当者には大いに有用であろう。

◆民具研究 日本民具学会

〒221-8686横浜市神奈川区六角橋3-27-1 神奈川大学日本常民文化研究所内

TEL045-481-5661 年5000円 <http://www.mingu-gakkai.com>

◇162 2021.8 B5 74p

廣部達三の「打ち鉾・打引き鉾・引き鉾」の3分法の再検討 河野 通明
放射目を白目とする2つの木摺臼の摺り面の形状比較

―民具の形から読み取ることができる合理性と造形のアイデア

久保光徳／王健／高橋敦／桃井宏和

アチック・ミュージアムにおける地方農村青年の立場

- 一吉田三郎関係資料の分析から 今井 雅之
書 評
鷹取ゆう著『ただいま収蔵品整理中！ 学芸員さんの細かすぎる日常』 石垣 悟
旅の文化研究所編『「小さな鉄道」の記憶―軽便鉄道・森林鉄道・ケーブルカーと人びと』 岩野 邦康
池谷和信編『ビーズでたどるホモ・サピエンス史―美の起源に迫る』 内田 幸彦
書籍紹介 『行田の足袋製造用具及び製品資料整備事業報告書』 岡本 夏実
展示批評 東京文化財研究所主催 千葉大学大学院・(公財)元興寺文化財研究所共催 「箕のかたち―自然と生きる日本のわざ」 今石みぎわ

◆民具マンスリー 神奈川大学日本常民文化研究所

〒221-0802横浜市神奈川区六角橋3-27-1 TEL045-481-5661 年3500円

1968年創刊

◇641 (54-5) 2021.8 A5 24p 350円

- 用材から考える刳摺臼の機能評価 桃井宏和／高橋敦／久保光徳
竹のミキノクチ―神奈川・東京・埼玉 山本 亮子
書籍紹介 『読む絵本 思い出のなかのおらーはー昭和前期の元狹山村のくらし』 入間市博物館編集・発行 米村 創

◇642 (54-6) 2021.9 A5 24p 350円

- 町会の成員にとって神輿とは何か―東京圏の町神輿に注目して 三隅 貴史
民具短信
新潟県胎内市中村浜の七夕飾り 三国 信一
赤飯贈答容器・エジュウとダイカイの神奈川県酒匂川東岸の分布について 保坂 匠

新 潟 県

◆高志路 新潟県民俗学会

〒950-0916新潟市中央区米山3-1-31-1101 金田文男方 TEL025-241-9402

1935年創刊 <https://fsnp.mints.ne.jp>

◇421 2021.8 A5 56p

- 誇り高き長岡瞽女―山本ゴイの始祖伝承を通して 鈴木 昭英
盆行事におけるタケニグサの利用 三国 信一
河川と正月行事―新潟県東蒲原郡阿賀町熊渡 石本 敏也

盆供のエゴノリとテングサ	大楽 和正
報告 「はんぎばぬぎの旅」について	岩野 邦康
宮本常一との出会い	佐々木伸彦
小千谷の紙絵と雛祭り	増川 洋子
松飾り	金田 文男
小報告 雪形	金田 文男
表紙写真 馬流し 八月七日早朝に馬を積んだ舟を送る／裏表紙写真 八月六日精霊様を迎えに行く舟に馬を積む 撮影地・日：北蒲原郡 聖籠町私大浜 平成15年8月6・7日 撮影：金田文男	

◆新潟史学 新潟史学会

〒950-2102新潟市西区五十嵐二の町8050 新潟大学人文学部史学研究室内

TEL025-262-6289 1968年創刊

◇81 2021.7 A5 66p 1000円

富田一白考	小林 智弘
資料紹介 神宮文庫所蔵弘化三年「大廻御祓賦帳」 一伊勢神宮と幕末の新潟町	田嶋 悠佑
書評 知本康悟『村に立つ教育一佐渡の僻村が挑んだ「村を育てる学 びの共同体」の創造』	中村 元

◆良寛だより 全国良寛会会報

〒951-8112新潟市中央区南浜通2 北方文化博物館新潟分館内

TEL025-222-2262 1978年創刊

◇174 2021.10 A4 16p

「良寛さまとこどもたち」(丸山正三・画) まるやま・しょうぞう (大
正元年～平成24年)

リレーエッセイ 良寛つれづれ(23) 過去帳に染みる良寛様	反町 尚子
良寛遺墨鑑賞(22) 問答歌 かれこれと	小島 正芳
良寛堂建立100周年記念 第44回全国良寛会出雲崎大会予告	
倉敷市に「きび美ミュージアム」開館 良寛や刀剣など吉備の文化を 紹介	山田 泰子
目を引く芭蕉画賛の良寛遺墨 竹林庭園に抱かれた「きび美ミュージアム」	小島 正芳
「良寛」への旅の始まり(下)	坂本 文江
相馬御風の良寛(23) 「逸話」について	金子善八郎
良寛を今に伝えた人びと(4) 解良栄重	本間 明

- 忘れ得ぬ人びと(5) 小原国芳先生と大学初の良寛銅像 加藤 惇一
 良寛 老いらくの詩歌 素描 吉田 福恵
 駒澤大学禅文化歴史博物館企画展「書でたどる良寛の足跡」開催される 小島 正芳
 トピックス 中国の「良寛詩碑亭」が修復される
 変わらぬ良寛敬慕に会長名で礼状 吉井 清一
 新刊紹介 『はるか良寛伝—玉島円通寺から備中の寺々へ』 器楽堂 ゆう子著、『華嚴の愛—貞心尼と良寛の真実』 本間明著、『日本におけるドナルド・キーン書誌—キーンをめぐる人びと』 北嶋藤郷著 柳本 雄司
 会誌紹介 すみれ第13号(巻良寛会)、しばた良寛会だより第32号(新発田良寛会)、良寛さま第104号(岡山県良寛会)、にいがた良寛第74号(新潟良寛会)、優游だより第25号(長岡良寛会) 吉井 清一
 良寛を訪ねて(23) 乙子神社(上)
 「半分は神官、半分は僧侶」 吉井 清一

富 山 県

◆富山史壇 越中史談会

〒930-0115富山市茶屋町33-2 富山県公文書館内 TEL076-434-4050

1954年創刊 <https://shidankai.web.fc2.com>

◇195 2021.7 A5 64p 1300円

- 変性を続ける中世石造物—往生と利益 松山 充宏
 近世加越能三か国における舞々について—越中の舞々を中心として 奥田 直文
 明治三十四年の黒田村博徒殺害事件
 一明治後期の社会問題「博徒」の一端について 前田 正吉
 史料紹介 安政六年西水橋高波災害絵図について 高野靖彦／大西宏治
 最近の地方史情報 原田真由美

◆北陸石仏の会会報

〒939-1315砺波市太田1770 尾田武雄方 TEL0763-32-2772

年3000円 1993年創刊 <http://odatakeo.wp.xdomain.jp>

◇64 2021.8 A4 8p

- 雨宝童子座像 滝本やすし
 大久保用水と「三輪日賢」彰徳碑 平井 一雄
 石造涅槃図 滝本やすし
 井波石工について 尾田 武雄

石 川 県

◆石川れきはく 石川県立歴史博物館

〒920-0963金沢市出羽町3-1 TEL076-262-3236 1986年創刊

<http://ishikawa-rekihaku.jp>

◇136 2021.8 A4 8p

表紙 国宝 源氏物語絵巻 東屋(一)

平安時代(12世紀) 徳川美術館蔵

石川県立歴史博物館開館35周年記念 令和3年度秋季特別展「尾張徳川家の至宝」大名文化の最高峰尾張徳川家ゆかりの名品が一堂に！／作品紹介 脇指 銘吉光 名物 鯰尾藤四郎、藤王閣図、初音蒔絵眉作箱

資料紹介 津田重久一天下の名刀「津田遠江長光」を加賀前田家にも

たらした男

塩崎 久代

学芸員コラム 広報を通して学ぶ石川の魅力

吉田 朋生

小田中親王塚古墳と大入杵命墓

三浦 俊明

福 井 県

◆若越郷土研究 福井県郷土誌懇談会

〒918-8113福井市下馬町51-11 福井県立図書館内 TEL0776-33-8860

年3500円 1956年創刊

◇312 (66-1) 2021.07 B5 68p

朝倉時代末期の史実を遺す二、三の石造物

三井 紀生

井奉行の職掌—十郷用水の管理・運営を担う人々

黒滝 香奈

大滝神社本殿及び拝殿の普請経過と設計変更時期について

—大久保勘左衛門家史料の研究(3)

国京 克巳

「南越雑話」(8)一翻刻と現代語訳

「南越雑話」輪読会

福井県における郷土史研究の動向—令和二年度分

本会事務局・福井県立図書館郷土資料グループ編(事務局 前田眞佐子)

山 梨 県

◆地域と社会 佐藤弘

〒402-0005都留市四日市場902-3 2017年創刊

◇9 2021.6 B5 25p

山梨県における昭和戦前期の町村による文化財の保存と活用

ー農山村経済更生計画書を手掛かりにして

森屋 雅幸

疎開体制の検討ー米国戦略爆撃調査団文書活用に向けて

蒲原まゆみ

長野県

◆飯田市歴研ニュース 飯田市歴史研究所

〒395-0803飯田市鼎下山538 TEL0265-53-4670

<https://www.city.iida.lg.jp/soshiki/39/>

◇113 2021.8 A4 4p

第18回飯田市地域史研究集会 暮らしのなかの景観ーその歴史と継承

第一部 景観の歴史と文化ー国際比較の視点から／第二部 魅力あ

る景観をのこす・つたえる

歴研のお仕事 歴史的公文書調査

太田 仙一

「飯田御用覚書」を一緒に読みませんか？ 担当者：羽田真也（歴史

研究所研究員） 毎月第2・4水曜日

リレーミニエッセイ(21) 満洲農業移民地視察に参加した山田阿水 本島 和人

新スタッフ紹介 特任研究員になりました

最新研究を学び新たな発見の発信を！

竹村 雄次

◇114 2021.10 A4 4p

美博トピック展示「伊那谷の富士信仰と旅」を開催します

第18回飯田市地域史研究集会を開催しました

暮らしのなかの景観ーその歴史と継承

福村 任生

飯田市歴研賞2021 受賞者コメント 著作賞 丹保の今昔を語る会編

『丹保の歴史と民俗 次世代に語り継ぐはなし』（私家版、2020年8

月）、著作賞 齊藤俊江著『長野県飯田下伊那の満洲移民関係資料

目録』（不二出版、2020年6月）、奨励賞 壬生雅穂著『ミチューリ

ン会機関紙に見る農業技術運動の展開と変容』（玄武書房、2020年9

月）、奨励賞 伊藤修著「陸軍第十五師団歩兵旅団機演習」（『信濃』

第72巻第6号、2020年6月）

◆伊 那 伊那史学会

〒395-0081飯田市宮ノ上4048 TEL0265-22-6017 年5500円

◇1119 (69-8) 2021.8 A5 50p 550円

口絵 ユネスコ無形文化世界遺産登録を目指す「新野の盆踊」とは

（柳田国男著「信州随筆」より）

橋都 正

- 柳田国男著「新野の盆踊」注釈など(1) 橋都 正
「市場中嶋家譜」にみる中嶋軍の結城合戦参戦(1) 松澤 英男
「遠山霜月祭」の和田諏訪神社における次第「神返し」 針間 道夫
明治初期の七道開削を和合の古文書から見る 宮下 澄子
飯田古墳群の基本データ(3) 渋谷恵美子／小林正春
下伊那日録(2016) 4月～6月 寺田 一雄
◇1120 (69-9) 2021.9 A5 50p 550円
口絵 入登山神社に祀る「烏天狗像」 原 董
令和二年度伊那谷研究団体協議会・第二三回シンポジウム報告 コロ
ナ禍下の伊那谷研究の現状と課題—私たちは今どこまできたのか、
そして、どこを目指しているのか 中島 正韶
伊那谷研究団体協議会のあゆみ 寺田一雄／中島正韶
柳田国男著「新野の盆踊」注釈など(2) 橋都 正
飯田古墳群の基本データ(4)
上溝天神古墳・水佐代獅子塚古墳・大塚古墳 渋谷恵美子／小林正春
下伊那日録(2016)6月～9月 寺田 一雄



*2021年2月13日に飯田市美術博物館で開催された伊那谷研究団体協議会第23回シンポジウムの概要を報告する。

飯田昆虫自然友の会、南信州文化財の会、伊那谷自然友の会、伊那谷地名研究会など15団体が参加し、それぞれの研究活動報告と情報発信を行った。コロナ感染防止のため各加盟団体2名の人数制限が設けられたが、地域歴史資料の保存保全、利活用にかかわる文化行政への要望、文化財レスキューに関わる県内外の情勢など、熱心な議論が交わされたとのことである。感染拡大で予定した活動ができないでいる団体がある一方で、リモートオンラインを駆使して従来にない可能性を見出している団体もある。一堂に会して情報共有することの意義を感じさせ

られる。

加盟団体の全会員数は2500人だが、会員の高齢化と減少が進んでいる。しかし、会長の中島正韶氏は、「私たちは、遅しく地道に調査・研究に励み、継続して努め、その成果を地域にひたすら発信していくことが、後継者につながると確信する。」「私たちの研究活動は後継者がいなくなって消滅するような研究ではない。必ず後継者は登場する。」と力強く記している。

◇1121 (69-10) 2021.10 A5 50p 550円

口絵 遠山川溪谷の多面的な自然	赤羽目壮人
変動する天竜川水系の魚社会(2) 外国出身の魚たち	大原 均
リスのなかま	宮下 稔
面平のサワラ林はどのようにできたか	清水 岳志
長谷川コレクション(化石や現生骨格)の魅力	小泉 明裕
伊那谷で特異な大地…松川町部奈	坂本 正夫

◆伊那路 上伊那郷土研究会

〒399-4501伊那市西箕輪3180 山口通之方 Tel0265-73-5538 年6000円

◇775 (65-8) 2021.8 A5 40p 600円

《終戦特集》

戦時中に開校と、閉校となった長野県伊那商業学校(上)	矢澤 静二
土蔵の中の宝物―満蒙開拓と私	伊藤 一幸
伊那高女(現伊那弥生ヶ丘高校)の開校―第二次大戦時の教師群像(2)	山口 通之
文化短信 『東京箕輪会会報誌』が上伊那郷土研究会・箕輪町歴史同好会を紹介	山口 通之
重要文化財「坂戸橋」―小・中学生向きの紹介	松村 正明
『伊那路』の拙論、大学院の研究に	竹岡 修二
古文書の窓(161) 村次願いの口書の写し	小口 恵子
図説・上伊那の民俗(50) 新盆のしるし(伊那市荒井)	三石 稔
徒然さんぽ(25) 曹洞禅寺 宝珠山真慶寺 宮田村	絵と文・吉田勝美

◇776 (65-9) 2021.9 A5 40p 600円

放浪の石工 藤森吉弥の石仏を探し求めて―上州編	有賀 利武
他所稼ぎ 江戸稼ぎ(2)―江戸っ子になった伊那人たち	三浦 孝美
戦時中に開校し、閉校となった長野県伊那商業学校(下)	矢澤 静二
安政国役御普請(5)	
―御目論見・御見分および御丁張・御仕立て中の諸入用	春日賢太郎
思い出の一枚 日方磐神社の大松の伐採	小林 幸平
古文書の窓(162) 三くだり半	松澤英太郎

図説・上伊那の民俗(51) 自然石道祖神(伊那市美簗上原)
徒然さんば(26) 本郷神社 飯島町

三石 稔
絵と文・吉田勝美

◆伊那民俗 柳田国男記念伊那民俗学研究所

〒395-0034飯田市追手町2-655 飯田市美術博物館内 TEL0265-22-8118
年3000円 1990年創刊 <https://inaminkenhome.blogspot.com>

◇126 2021.9 B5 8p

表紙 盆の迎え火／「送り念仏」(向山雅重撮影、伊那図書館所蔵) 今井 啓
戦後の下伊那地方の養育

一飯田市上久堅の福島一成さんの農作業日記から 松上 清志
柳田館資料整理報告(1) 寄贈資料をひもとく 粟谷真寿美
読書ノート 『祭日考』より「農村の夏祭」 宮坂 昌利
報告 特別例会 折口講座第7回 『「はちまきの話」を読む』 今井 啓
表紙写真解説 天龍村坂部の盆棚 今井 啓

◆信濃 信濃史学会

〒399-0036松本市村井町南1-28-35 年10200円 TEL0263-58-1213
<http://www.shinano-shigakukai.jp>

◇859 (73-8) 2021.8 A5 82p 1150円

第105回セミナー講演 北佐久郡立科町での歴史資料保全

一「ウィズ・コロナ」社会での展開 西村慎太郎
戦国期武田氏領の「半手」と両属関係領主 柴辻 俊六
塩田城主福沢氏を見直す

一未完成の前山寺三重塔との関わりもあわせて 寺島 隆史
研究の窓 古墳を活かした地域活性—全国的な傾向と今後の課題 山中 鹿次



総会報告 2021(令和3)年度定期総会報告

事業委員会

受贈図書紹介 玉木寛輝著『昭和期政軍関係の模索と総力戦構想 戦

前・戦中の陸海軍・知識人の葛藤』、柳沢賢次著『記紀神話伝承史

日本は哲学は存在した』、「守れ！文化財—モノとヒトに光を灯す—

—」事業実行委員会『守れ！文化財—モノとヒトに光を灯す—

二〇二〇年度事業報告書』

＊西村慎太郎氏「北佐久郡立科町での歴史資料保全—「ウィズ・コロナ」社会での展開」は、同氏が代表理事を務めるNPO法人歴史資料継承機構じゃんぴんの活動に基づいたものである。じゃんぴんは地域の歴史資料保全を自治体や地域住民とともに進めることを目的に2006年に設立され、関東、福島、静岡、長野、新潟県内の44か所で活動してきている。

コロナ蔓延後は、じゃんぴん公式 Youtube を立ち上げた。しかし、全ての地域にインターネット環境が整い、使える人がいるわけではないことから、南伊豆町教育委員会に仲介を依頼して地元のカプセルテレビ小林テレビと、同じく、立科町教育委員会に依頼し、蓼科カプセルテレビとの連携を図った。ウィズ・コロナ社会における、歴史資料保存、調査活動成果の地域貢献・地域接続を自治体、地域住民とどのように共有していくか、その方向性を示している。

◇860 (73-9) 2021.9 A5 80p 1150円

信濃における脇屋義治の活動—市河家文書の人名比定を通じて

中根 正人

南北朝期の信濃小笠原氏における守護職の継承関係をめぐって

—小笠原政宗の位置づけについて再論

花岡 康隆

「関東幕注文」新田衆の幕紋—「丸之内の十方」は「丸の内の十方」

松田 猛

資料紹介 高遠藩主・内藤清枚が描いたウズラ図

—新出資料《ウズラ》、伊那市立高遠町歴史博物館蔵《鶉》

林 洋一

書誌紹介 『高甫読書会のあゆみ』

村石 正行

追悼文

高原正文さんを偲んで

小松 芳郎

高原さんを偲んで

小野 和英

高原正文さんを悼む

小林 茂喜

安曇野市の文化行政を牽引した高原正文さん

逸見 大悟

◆長野県民俗の会通信

〒384-2104佐久市甲135 田澤直人方 TEL0267-88-6927 年5000円

<http://nagano-minzoku.chu.jp>

◇285 2021.9 B5 10p

田口光一氏のご逝去を悲しむ

酒井 佐

伊那市東春近における小正月の柱建て
ギボウシの花
葉書でつぶやくコーナー 棟飾り—安曇野に来て見て驚いた(3)

三石 稔
胡桃沢勘司
倉石 忠彦

岐 阜 県

◆郷土研究岐阜 岐阜県郷土資料研究協議会

〒500-8368岐阜市宇佐4-2-1 岐阜県図書館内 TEL058-275-5111 年2800円
1973年創刊 <https://www.library.pref.gifu.lg.jp/library-information/related-organizations/kyoshiken/>

◇136 2021.9 B5 28p

地理の必修化と地域調査

木村 稔

大垣藩農兵隊

清水 進

史料紹介 大震罹裁亡霊薦福之碑について

黒田 隆志

飛騨高山町の博物館所蔵 「高山町会所文書」について

松永 英也

牛洞雨乞踊の踊り歌—「雨乞踊の唄」「御礼の唄」「牛洞豊年踊」

岡田 吉孝

書窓の風

西濃 『安八町史 現代編』が刊行

児玉 剛

美濃 文化財図録について

曾我 孝司

飛騨 『わがふるさと 桜洞』区民の熱意実る

下呂市萩原町の桜洞区郷土誌発刊

茂住 修史

新刊紹介 郷土に関する図書の発行 笠松町歴史未来館『ぶらっと笠

松町 歴史と文化』

蓑島 一美

郷土関係新刊書目録(121)

郷土関係逐次刊行物文献目録(119)

◆岐阜市歴史博物館だより

岐阜市歴史博物館 〒500-8003岐阜市大宮町2-18-1 岐阜公園内 TEL058-265-0010／加藤栄三・東一記念美術館 〒500-8003岐阜市大宮町1-46 TEL058-264-6410 1985年創刊

◇109 2021.9 A4 8p

表紙 国宝 伝衆宝王菩薩立像 奈良時代 唐招提寺蔵

特別展「波濤を越えて—鑑真和上と美濃の僧・栄叡」

加藤栄三・東一記念美術館「日本画家 川瀬麿士展—山川草木」

加藤栄三・東一記念美術館「加藤栄三・東一 モノトーンの世界」

研究ノート 鮎鮪献上廃止以後の鵜飼保護政策(後編)

佐藤 友理

館蔵資料紹介

坊の塚古墳出土滑石製石製品 古墳時代中期(5世紀前半)

静岡県

◆赫 夜一カグヤ 富士山かぐや姫ミュージアム博物館だより

〒417-0061富士市伝法66-2 Tel0545-21-3380

<https://museum.city.fuji.shizuoka.jp/index.php>

◇78 2021.8 A4 4p

富士山かぐや姫ミュージアム秋のテーマ展 令和3年度沼津市・富士市連携埋蔵文化財活用特別展示「愛鷹山と生きる 原始・古代の生存戦略」

成瀬 陽介

春のテーマ展「無病息災 悪病退散—伝承される祈りと祓い— 調査報告」

秋山 裕貴

展示室(2)「富士山の玉手箱」 洋画家野田好子 望郷の富士

展示室(2)「富士山の玉手箱」に新設!

武田弘氏寄贈 富士山コレクションコーナー

令和3年度「かやぶき農家の工芸まつり」実施報告

新寄贈品紹介 西ヶ谷広和氏寄贈富士山写真

◆静岡県近代史研究会会報

〒422-8526静岡市駿河区谷田52-1 静岡県立大学国際関係学部 森山優研究室
年4000円 <https://shizuokakenkindaishi.wordpress.com>

◇515 2021.8 A4 4p

「有難う」の時代と舞台—川端康成の静岡

田中 優子

事務局より 静岡市教育委員会事務局御中

「自由社」歴史教科書の採択検討について

◇516 2021.9 A4 4p

会告 2021年度総会を下記の通りに開催します

講師:見城悌治氏 演題:「洪沢栄一と静岡」(仮)

森山 優

「流行性感冒」の襲来—資料紹介(2)

小池 善之

◇517 2021.10 A4 4p

総会記念講演会レジュメ 洪沢栄一の「社会」貢献と静岡

見城 悌治

会員著作紹介 見城悌治著『洪沢栄一 「道徳」と経済のあいだ』

清水 実

◆静岡県地域史研究 静岡県地域史研究会

〒412-0043御殿場市新橋1891-1 厚地淳司気付 年4000円 2011年創刊

◇11 2021.9 A5 89p

戦国期の大宮司富士氏一戦国大名今川氏との関係を中心に

鈴木 将典

中世前期の駿河国の在地領主・武士団

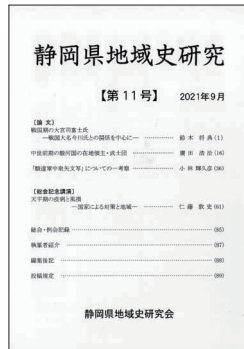
廣田 浩治

「駿遠軍中衆矢文写」についての一考察

小林輝久彦

総会記念講演 天平期の疫病と風損一国家による対策と地域

仁藤 敦史



＊「天平期の疫病と風損一国家による対策と地域」は、2020年9月に開催された静岡県地域史研究会第40回総会の記念講演で、講演者の仁藤敦史氏は、『藤原仲麻呂 古代王権を動かした異能の政治家』（中公新書 2021）などの著書がある古代史研究者である。講演の冒頭で同氏は、貞観4（862）年の流行性感冒に言及し、この時期には、疫病の流行、大地震、津波、富士山の噴火が記録され、この内の三つはすでに近年に起きていて、貞観期と現代は類似した状況を示していると述べる。怖いことである。

講演本旨は、正倉院文書の、天平9（737）年度「駿河国正税帳」と天平12年の「浜名郡輪祖帳」から、この時期の疫病蔓延状況と国の災害対策を明らかにしたものである。橘諸兄政権は、総人口の三割ほどが死亡した疫病被害の復興のために軍縮を行い、それに振り向けていた人的・物的資源の削減や地方行政の簡素化などにより、民政の安定と国家財政の削減を目指したという。興味深い示唆である。そして、この二つの史料はもっと活用すべき余地があると指摘する。

◆静岡県地域史研究会報

〒412-0043御殿場市新橋1891-1 厚地淳司気付 年4000円 2011年創刊

◇238 2021.8 B5 4p

5月例会報告要旨

近世後期遠州地域の大念仏の規制	小杉 勇人
6 月例会報告要旨 駿河今川氏による今橋城及び田原城の落城時期再考―「常光寺年代記」の信用性	小林輝久彦
7 月例会報告要旨	
戦国大名今川氏の三尾侵攻・再考―天文年間を中心に	糟谷 幸裕

◆静岡県民俗学会会報

〒424-0053静岡市清水区渋川1-9-35 <http://web.thn.jp/s-folklore/>

◇180 2021.7 A4 8p

方言雑考―「静岡の俚言」「よかん」の正体(2)

一分布・語法・「カンナ言葉」

富山 昭

令和3年度 総会・大会報告

(川口・外立)

シリーズ食(43) 「由比のサクラエビ料理」

松田香代子

2021年 富士山大宮・村山口登山道の開山式

松田香代子

愛 知 県

◆愛城研報告 愛知中世城郭研究会

〒445-0073西尾市寄住町燈籠下4 石川浩治方 TEL0563-57-5988 1994年創刊

◇24 2021.8 B5 142p

江戸時代前半の西尾城

浅岡 優

愛知県の近世大名・旗本家墓所

安藤 義弘

三河岡城址ノート

池田 光雄

雨山城(岡崎市雨山町)について

石川 弘治

岡崎市筒針城に関する新史料について

石川 弘治

西尾城天守の大きさ

伊藤 尚武

『美濃御坂越記』にみられる「茄子川の城」について

遠藤 久生

『家忠日記』の天正六年「新城」について

奥田 敏春

吉祥院の移転と吉田城の拡張及び改造―酒井忠次による整備

小林輝久彦

竜ヶ谷山城と多和田城

関口 和也

刈谷市・知立市の城館の基礎的検討

山崎 裕太

◆岩瀬文庫だより 西尾市岩瀬文庫

〒445-084西尾市亀沢町480 TEL0563-56-2459 2004年創刊

<https://iwasebunko.jp>

◇69 2021.6 A4 4p

岩瀬文庫企画展「塩」／次回企画展予告「ものがたりの系譜」
『新編西尾市史 資料編3 近世1』刊行／「塩田体験会」参加者募集
～昔ながらの塩田で塩をつくろう

蔵書紹介 『三州海辺巡見日積録』(151-162) 有沢貞庸(才右衛門)
文政9(1826)年刊

◆郷土文化 名古屋郷土文化会

〒466-0064名古屋市昭和区鶴舞1-1-155 名古屋市鶴舞中央図書館

TEL052-741-9822 年3000円 1946年創刊

◇236 (76-1) 2021.8 A5 92p 1500円

稲生原古戦場跡の世界

犬塚 康博

今川家元家臣之内密実記

太田 輝夫

歌人坂光淳の出自とその周辺

大野 正茂

尾張藩における空き俵の徴集とその用途

林 順子

資料に見る尾張旭市の疫病史

中山 正秋

戦後食糧難と名古屋城外濠の魚

津田 豊彦

◆まつり まつり同好会

〒458-0006名古屋市緑区細口3-161 田中青樹方 TEL052-877-3497 年5000円

1961年創刊 <http://www.wa.commufa.jp/matsuri/>

◇82 2020.12 A5 64p 2000円

《特集 祭礼の意匠》

祭礼に見る蟹気楼意匠

津田 豊彦

山車の彫刻

水野 靖

表紙写真 三谷祭(愛知県蒲郡市)三蓋傘山車の大幕に刺繍された蟹気

楼意匠(大蛤が吐く気に浮かぶ楼台)

◆まつり通信 まつり同好会

〒458-0006名古屋市緑区細口3-161 田中青樹方 TEL052-877-3497 年5000円

1961年創刊 <http://www.wa.commufa.jp/matsuri/>

◇614 (61-4) 2021.7 B5 8p 600円

表紙のことば 沖縄のシマ・エイサー

沖縄県本島北部(名護市・本部町・他) 旧7月13～15日

坂本 要

「民間念仏信仰の研究」の構想(4) 5. 踊り念仏と念仏踊り

坂本 要

曹洞宗・金蔵寺(三重県大紀町)における「切紙」史料

糸川 定伸

◇615 (61-5) 2021.9 B5 8p 600円

表紙写真のことは

常陸国総社例大祭(石岡常陸のおつまり)のミロクとササラ
「民間念仏信仰の研究」の構想(3)

坂本 要

6. 風流系念仏踊り(元本「第五章大念仏と風流踊り」)

坂本 要

名古屋市富永観音堂御開扉について

鬼頭 慈都

新刊紹介 津軽のイタコ 笹森建英著

(M・K)

滋 賀 県

◆湖国と文化 びわ湖芸術文化財団

〒520-0806大津市打出浜15-1 TEL077-523-7146 年2520円 1977年創刊

<http://www.biwako-arts.or.jp>

◇177 (45-4) 2021.10 B5 88p 600円

《特集 ひらく 湖国のアート》

プロローグ

滋賀ゆかりの12人の若手たち

文・編集室／写真・前谷開

インタビュー 湖と生きる ここからひらく美術館の未来

滋賀県立美術館ディレクター(館長) 保坂健二郎さん

文・三宅貴江／写真・山崎純敬

アートがある「日常」に 若手キュレーター座談会

滋賀県立美術館 荒井保洋／藤樹の里文化芸術会館 花田恵理／八

日市文化芸術会館 藤野裕美子 聞き手・文責 三宅貴江／写真・谷本吉有基
共同アトリエ

信楽はセラミック・ワンダーランド!

シガラキ・シェア・ハウスの想い

杉山 道夫

空間・技術・力シェア 共同アトリエ Soil

藤野裕美子

分岐点生み出す場、30年 ことうへムスロイド村

西川 礼華

山中 suplex 簡易通史

堤 拓也

この地で創る・育てる 11年目の現代アートコース

宇野 君平

「Soft Territory かかわりのあわい」を終えて

「間」から生まれる未来

荒井 保洋

「温故知新」展に見るコレクションの力

大原由佳子

全館コレクション展示「ボイスオーバー」

厳選100点を“回って遊ぶ”

渡辺亜由美

ぶらり近江はっけん伝(18) 中山道の番場宿

岸野 洋

近江の懐(18) 大音

糸とりの里、佃平七糸取り工房、三味線の音色	加藤 賢治
大音の茶店	石川 亮
万葉の旅人(10) 玉くしげ覆をやすみ明けていなば君の名はあれどわ	
が名し惜しも(巻二—93 鏡王女)	文と曲・林博通／画・鈴木靖将
歴史の玉手箱(21) 内湖干拓と新たな大地	岡本 和己
祭の美 祈りのかたち(11)	
安楽寺の開きの会式(甲賀市甲賀町小佐治)	写真・文 川島朱実
近江の黎明 相谷熊原遺跡から探る縄文の世界(3)	
持ち帰った掘削土、ふるいにかけて発見	松室 孝樹
トムさんの日野暮らし 第5回 「新解・三方よし」	
「世間よし」。明治以前の「世」とは	トム・ヴィンセント
藤樹神社と洪沢栄一 思想血肉化、創建に尽力	井上 優
「聖徳太子国・近江」の謎 「最澄」が結ぶ、史実と事実	大沼 芳幸

◆彦根城博物館だより

〒522-0061彦根市金亀町1-1 TEL0749-22-6100 1988年創刊

<http://www.hikone-castle-museum.jp>

◇134 2021.9 A4 6p

特別展 日本の刀装―刀を飾る技と美 重要文化財 銀地三鱗紋兵庫

鎖太刀拵(号 北条太刀) 東京国立博物館蔵

展示案内 2021年9月～12月

特別展 日本の刀装―刀を飾る技と美／注目！ 井伊家伝来の拵―多彩な鞘塗

テーマ展 茶道具の“い・ろ・は”、企画展 奇才の絵師 張月樵
―彦根～京～名古屋への道／テーマ展 井伊家近代文書からみる彦根城

研究余録 金亀玉鶴 張月樵の名古屋行きと彦根での認知度	高木 文恵
彦根藩資料調査研究会 「殿様の日常生活」に迫る	

京 都 府

◆黄檗文華 黄檗山万福寺文華殿

〒611-0011京都府宇治市五ヶ庄三番割34 TEL0774-33-1199 1973年創刊

◇140 2021.7 B5 230p

隠元禅師大遠忌に際し檣門の再起を探る	松本 普成
費隠禅師書状の考釈	周 錡

宋版の黄檗希運斷際禪師語録三種	林 觀潮
黄檗派の祖師源流図について	錦織 亮介
大潮元皓と売茶翁	高橋 博巳
摂津州の黄檗庵絶寺院志	石渡 吉彦
肥前鹿島藩主鍋島家の墓碑考察(2)	秋元 茂陽
求道者へのエール『擬寒山詩百詠』	住谷 瓜頂
日本書道史の思想的解明(遺稿)	故 高井 恭子
俳句に用いられた「祝国」―豊田穰の異国での一句をめぐって	野川 博之
隠元の嗣法とその精神について	賈 光佐
私が一切経収蔵庫で作業出来た理由	矢野 俊行
東明慧日と東明慧岳	田中 智誠
令和元年度事業報告	

◆芸能史研究 芸能史研究会

〒602-0855京都市上京区河原町荒神口下ル上生洲町221 キトウビル303 TEL075-251-2371 年6000円 1963年創刊 <http://www.5b.biglobe.ne.jp/~geinoshi/>

◇234 2021.7 B5 52p 1800円

戦国織豊期飛鳥井家の破子鞠の会について	尾下 成敏
芸能史ノート 説経源氏節流祖岡本美根太夫の動向・座組資料解題	加納 克己

壬生寺本堂出開帳大念仏会執行関係資料 (寛政元年)解題	八木 智生
書評 阪口弘之著『古浄瑠璃・説経研究 近世初期芸能事情』(上下二卷)	和田 修

紹 介

羽田昶「近代の金春流を彩った人々(一〜一〇)」(鶴翁)

林久美子「清浄華院『日次帳』(『日鑑』)より 宝永の泣不動開帳

および境内整備関係記事」(ひ)

『国立劇場所蔵見世物資料図録』(K・S)

例会発表要旨

横山華山筆《祇園祭礼図巻》にみる江戸後期の祇園会 八反裕太郎

芸能史としてのチェコ語狂言 大谷 節子

祇園会山鉾調進と「町人」

―「敷地役」と「失墜料」をめぐって 五島 邦治

◆古代文化 古代学協会

〒604-8205 京都市中京区三条通高倉西入ル菱屋町48 TEL075-252-3000

年8000円 <http://kodaigaku.org>

◇625 (73-2) 2021.9 B5 154p 2700円

長元斎王託宣の史的意義と11世紀天照大神祭祀

—藤原頼通との関係から

榎村 寛之

古代日本の村と里

村上 菜葉

千葉氏妙見信仰の政治史的考察

岡野 浩二

特輯「古代中国の東北フロンティア開発と遼東郡・玄菟郡・楽浪郡」

(下)

特輯「古代中国の東北フロンティア開発と遼東郡・玄菟郡・楽浪郡」

(下)に寄せて

田中 俊明

遼寧地方の集落考古学研究

徐 光輝

考古学からみた衛滿朝鮮の王陰城

鄭 仁盛

特輯「常陸の古代文化」補遺

桜川流域における前期古墳の展開と領域形成

滝沢 誠

常陸における後期の埴輪

忽那 敬三

武則天の七宝一仏教転輪王の図像、シンボル及びのその政治的含意

孫英剛／池麗海・訳

『小右記』註釈(26)―長和4年5月26日条

並木 和子

『江家次第』にみる朝廷儀礼の式次第(2) 讓位(2)

近藤 好和

神戸市西区 玉津田中遺跡の弥生時代前期墓域の調査

園原 悠斗

書 評

榎英一著『律令交通の制度と実態―正税帳を中心に』

荒井 秀規

栗原麻子著『互酬性と古代民主制 アテナイ民衆法廷における「友

愛」と「敵意」』

宮崎 亮

根岸洋著『東北地方北部における縄文／弥生以降期論』

斎野 裕彦

新刊紹介

浅川滋男編著『能海寛と宇内一統宗教』

小林 克

国立歴史民俗博物館 松木武彦・福永伸哉・佐々木憲一編『日本の

古墳はなぜ巨大なのか 古代モニュメントの比較考古学』

森岡 秀人

虎尾達哉著『藤原冬嗣』

櫻井 智

関根淳著『六国史以前 日本書紀への道のり』

若井 敏明

◆史迹と美術 史迹美術同致会

〒606-8048京都市上京区下立売通小川東入西大路町146 中西ビル内

TEL075-462-4292 年8000円 1930年創刊 <https://www.shibikai1930.com>

◇916 (91-6) 2021.7 A5 30p 918円

宇治興聖寺の庭園空間と管理指図に関する研究(3)

- 『興聖寺作木并掃除覚帳』の分析から 尾崎 洋之
高野山の大名墓に見る朱入の銘文について 木下 浩良
九州の石塔調査報告 3. 万才原文字三尊自然石塔婆群 佐藤 誠
◇917 (91-7) 2021.8 A5 36p 918円
松花堂昭乗の自作和歌をめぐって(上) 村上 泰昭
宇治興聖寺の庭園空間と管理指図に関する研究(4)
—『興聖寺作木并掃除覚帳』の分析から 尾崎 洋之
◇918 (91-8) 2021.9 A5 36p 918円
日本庭園・石造美術あれこれ(7) 福羽逸人と京都の造園界(上) 尾崎 博正
松花堂昭乗の自作和歌をめぐって(下) 村上 泰昭
九州の石塔調査報告 4. 筒野曼荼羅自然石塔婆 佐藤 誠
高野山奥之院豊臣家墓所発見の豪姫の五輪塔 木下 浩良

◆都藝泥布 京都地名研究会通信

- 〒610-1126京都市西京区大原野上里男鹿町14-5 入江成治方 FAX075-331-3431
年3000円 2002年創刊 <https://kyotochimei.wixsite.com/kyotochimeif/>
◇73 2021.3 A4 8p
◇74 2021.8 A4 8p
第56回地名フォーラム開催案内
発表1 平安京周辺の野一杵武天皇の遊獵の場— 発表要旨 岩田 貢
発表2 巨椋神社と惟喬親王伝承 発表要旨 小寺 慶昭
新羅の王仁と山代の大根 沖村 由香
住宅開発地は「丘」か「台」か?—南山城地域の丘陵地の場合 岩田 貢
本の紹介 片山一道著『骨が語る日本の歴史』(1) 小寺 慶昭

◆土 車 古代学研究所だより 古代学協会

- 〒604-8131 京都市中京区三条通高倉西入ル菱屋町48 TEL075-252-3000
<http://kodaigaku.org>
◇142 2021.9 B5 8p
古代学協会設置 顕彰碑 長岡宮西方の宮殿跡 山中 章
宝厳院亮祐墓石 上島 有
表紙解説 長岡京の南面大垣と諸施設 山中 章
女官研究と私 岡島 陽子
角田文衛博士遺贈資料(7) 日本考古学協会総会記念写真 平田 健

大 阪 府

◆泉佐野の歴史と今を知る会会報

〒596-0845岸和田市阿間河滝1425 井田寿邦方 TEL0724-28-0204

年1200円 <http://www.eonet.ne.jp/~sanonokai/>

◇404 2021.8 B5 12p

一三五二年、畠山国清は和泉守護であったか？(前) 井田 寿邦

「和泉國泉郡内畑村繪圖」を読む(4)ー水利環境を中心に(『会報』第

398号に続く) 其の四 「内畑村絵図」虫眼的視点から 池田 雅治

現代語訳「食家と佐野と海」(12) 二山 和美

拙論の補足 嶋中 佳輝

史料紹介 泉州の地誌(7)

藤田家文書「郷中村々高家数竈数人数寺社数帳」(7)

◇405 2021.9 B5 12p

駿府の日根野弘就と今川氏真 廣田 浩治

一三五二年、畠山国清は和泉守護であったか？(後) 井田 寿邦

現代語訳「食家と佐野と海」(13) 二山 和美

寄贈 『和歌山地方史研究』第81号 小特集・躍動する熊野の武士団

史料紹介 泉州の地誌(8)

藤田家文書「郷中村々高家数竈数人数寺社数帳」(8)

◆大阪歴史懇談会会報

〒536-0008大阪市城東区関目2-3-2 アンティークショップ一兵内 TEL06-6931-

1081 年5000円 1984年創刊 <http://osakarekikon.cocolog-nifty.com>

◇441 (38-7) 2021.7 B5 4p

巻頭言 神のおやしろのこと(63) 森ノ宮(鶴森宮)(3) 和久 敦也

◇442 (38-8) 2021.8 B5 4p

巻頭言 神のおやしろのこと(64) 玉造稻荷神社 和久 敦也

令和3年7月例会報告(第406回)「日本人の黒人観」(1)ーそのアフ

リカ認識の歴史と現状 片倉穰氏 (報告・朝山)

特集・歴史図書案内 「信長と弥助 本能寺を生き延びた黒人侍」ロ

ックリー・トーマス著 太田出版/『アフリカ 人類の未来を握る

大陸』(集英社新書) 別府正一郎 作品社

◆大塩研究 大塩事件研究会

〒530-0053大阪市北区末広町1-7 成正寺内 TEL06-6361-6212 1976年創刊

◇85 2021.8 A5 82p

大塩平八郎の京阪キリシタン一件捜査をめぐって	宮崎ふみ子
大塩平八郎肖像画論	森田 康夫
大坂城下最後の鉄砲同心屋敷	澤田 平
資料翻刻「大塩平八郎一件 科書 写」(4)	大塩の乱関係資料を読む部会
大塩ゆかりの地を訪ねて(12)「太閤(背割)下水施設」	内田 正雄
「大塩平八郎終焉の地」碑 移設のご報告 第二回	内田 正雄

◆かいづか文化財だより テンブス 貝塚市教育委員会

〒597-8585貝塚市畠中1-17-1 TEL072-433-7126 1996年創刊

◇75 2021.10 A4 8p

近米川をはさんで築かれた二つの城—千石堀城と高井城
姉妹都市カルバーシティ市と貝塚—貝塚市歴史展示館の展示資料から
(4)

国宝孝恩寺観音堂 令和の大修理(4) 軒瓦の設置／鬼瓦の設置
「貝塚の民話」絵本原画展2021 開催中！／小学校巡回展示「貝塚の
古墳」

古文書講座—市内に残る身近な古文書 ほっかんさん紀の路を行く 3
／国の天然記念物 和泉葛城山ブナ林を守るために ナラ枯れ対策
で、薬剤の樹幹注入などを行いました

◆近畿文化 近畿文化会

〒543-0001大阪市天王寺区上本町6-5-13 上本町YUFURA 7階

TEL06-6775-3686 年2200円 <http://www.kintetsu-g-hd.co.jp/culture/bunka/>

◇861 2021.8 A4 10p 300円

法隆寺西院伽藍 建立の背景	田邊 征夫
地域観光を創出する実地調査	
—『河内平野中部観光資源調査報告』の刊行に向けて	来村多加史
大和文華館 展覧会案内「祈りと救いの仏教美術」	

◇862 2021.9 A4 8p 300円

城陽・木津の御仏をめぐる	戸花亜利州
発掘調査からみた禁野火薬庫と枚方製造所	駒井 正明

◇863 2021.10 A4 8p 300円

仏像入門 東寺講堂のみほとけたち—平安時代前期の密教仏	関根 俊一
長尾山丘陵の古墳をめぐる—地域の古墳から考える古墳時代	森本 徹
鼎談「百舌鳥・古市古墳群を語る」	—瀬和夫／白神典之／司会・来村多加史

◆左海民俗 堺民俗会

〒593-8302堺市西区北条町2丁10-11 佐原浩二方 TEL072-275-8588 年3000円
<https://ameblo.jp/skmz2014>

◇167 2021.9 B5 8p

堺の町のなりたち(1) 百舌鳥	川村 淳二
1929年世界恐慌・昭和恐慌における地域差(1)	森井 淳吉
万葉人の国つ神	下谷 佐吉
「河内鑄物師」(最終回)―鑄物師組織の再編	光田 三生

◆城だより 日本古城友の会

〒577-0044大阪市西成区玉出中2-11-28 平川大輔方 TEL06-6652-4511
<http://www.kojyo-tomonokai.com>

◇632 2021.8 B5 28p

7月・第693回例会の報告 洛中に4つの二条城を訪ねる 担当幹事:
木下修二・平川大輔

高知県高知市 潮江(うしおえ)城跡を訪ねて	坂本 昇
-----------------------	------

◇633 2021.9 B5 24p

大和 宇陀松山城を探访します(10月・第696回例会)	
丹波園部城の下見	川端 義憲
雲伯の城と史跡巡り(前編)	藤岡 秀典
京都府舞鶴市 溝尻城跡・堂奥城跡を訪ねて	坂本 昇

◆つどい 豊中歴史同好会

〒560-0054豊中市桜の町4-6-27-208 小川滋方 月1000円
1988年創刊 <http://toyoreki.way-nifty.com>

◇402 2021.8 B5 6p

古市・百舌鳥古墳群出現の背景	清家 章
----------------	------

◆ヒストリア 大阪歴史学会

〒657-8501神戸市灘区六甲台町1-1 神戸大学大学院人文学研究科
古市晃研究室気付 1951年創刊 <http://www.historia-osaka.on.arena.ne.jp>

◇287 2021.8 A5 99p 900円

近世天皇葬送儀礼の歴史の変遷	佐藤 一希
一九二〇年代後半における政党政治と陸軍	
―政党への系列化をめぐる―	山口 一樹
地域の歴史を守り伝える 宝塚の古文書を読む会の活動	乾文男／大国正美

書 評

松本洋幸著『近代水道の政治史 明治初期から戦後復興期まで』 久野 洋
茶谷誠一編『象徴天皇制のゆくえ』 古川 隆久

2020年度大会・総会の記録

◆歴史懇談 大阪歴史懇談会

〒536-0008大阪市城東区関目2-3-2 アンティークショップ一兵内

TEL06-6931-1081 年5000円 1987年創刊

<http://osakarekikon.cocolog-nifty.com>

◇35 2021.8 B5 60p 1000円

玉山金山(15) 黄金・事始めの地は謎か 松坂 定徳

石見吉川家十一代目 吉川和泉守経實(4) 田村 紘一

富岡鉄斎の書簡を読む 中澤 祐一

「八品神社」について 磯崎 素子

現下の香港の現状を顧みて、幕末維新における高杉晋作(長州藩士)の

功績を検証 小林 司

固有法と現代法の挟間で 岩谷 隆行

「アドリア海の真珠」と呼ばれる港町 夏原 君代

日曜歴史散歩(3)一尾崎の歴史と伝説をたずねて 室田 卓雄

づばらやの「ふぐ提灯」 和久 敦也

雑記「オノマトペ」 磯崎 素子

コラム 独り言つ「中之島公会堂の月」 井川 光正

令和二年度の歩み 磯崎 素子

兵 庫 県

◆家系研究協議会会報

〒675-0101加古川市平岡町新在家1745-203 馬原浩一方 TEL079-424-0921

年5000円 2002年創刊 <http://kakenkyoug2.xrea.com>

◇77 2021.8 B5 8p

東京オリンピック 馬原 浩一

家系研究小ネタ特集 第3回 “民部公子” 徳川昭武について

家系研究協議会 令和3年度総会の集計結果

珍名さんいらっしゃい 番外編その5 「源氏」と「平家」さん 馬原 浩一

◆西宮文化協会会報

〒662-0974西宮市社家町1-17 西宮神社内 TEL0798-33-0321

<http://nishinomiya-ebisu.com/bunkyo/>

◇641 2021.8 B5 8p

西宮ざらりーさんぽ

森田 正樹

生瀬の渡しと村の境

早栗佐知子

人形劇の図書館コレクション展 子どもたちとえべっさん

湯見 英明

会員活動報告 コロナ禍を笑去? 『お笑い神事』で大爆笑 中村宏/山本純子

◇642 2021.9 B5 8p

生瀬の民家

椿原 佳恵

「傀儡芸の本質―筑紫舞について―」鈴鹿千代乃先生大いに語る

江寄健一郎

行事のご案内 令和三年度伝統芸能等の鑑賞促進事業「えびすかき」

がやって来た!

武地 秀実

「源氏物語」と「葵上」

森村 暁子

会員活動報告 『西宮&阿波木偶廻し』は『恩頼』の象徴 中村宏/山本純子

◆東播磨 地域史論集 東播磨地域史懇話会

〒675-1224加古川市平荘町上原298-1 山本祐作方 TEL079-428-1055

1994年創刊

◇27 2021.6 A4 43+18p

東播磨のため池と伝説Ⅳ一蛇が池と雨乞い(加古川市志方町)

森本 眞一

資料紹介 調査日誌と写真帳にみる多聞古墳群たつか支群

中濱 久喜

加古川市志方町西飯坂の通称「宮谷」の歴史について

上月 昭信

近世の内之倉新田と原村について

山本 祐作

近世日向大明神の頭屋における祝詞

兼本雄三/関口洋介

◆歴史と神戸 神戸史学会

〒657-0845神戸市灘区岩屋中町3-1-4 田中印刷出版内 TEL078-871-0551

年3000円 1962年創刊

◇347 (60-4) 2021.8 A5 57p 600円

《特集 史料から読み解くひょうご近世史》

谷文晁の「笠置山」について

柴田 昭彦

播磨国加古郡にみる近世の水論・地論

―加古郡大西二男家文書を通して

伊賀なほゑ

尾芝静所著『静所一夜百首』について―静所詩の鑑賞を中心にして

三枝 正平

メキシコドル ロマン―太平洋循環航路の発見

竹村 勝昌

地域から 気になる一冊『山本真蔵日記』

アナール学派の視点で網干の近代を読む

増田 行雄

新聞地域版を読む

神戸新聞の文化財記事(2014年10月24日～10月31日)

大国正美／有吉康德

◇348 (60-5) 2021.10 A5 49p 600円

《特集 兵庫の城郭絵図研究(播磨・淡路編)―荻原一青の再評価》

明石城と荻原一青画「播磨明石城之図」―元絵図と参照資料の検討

宮本 博

荻原一青の描いた「播磨龍野城之図」

岸本 道昭

姫路城・赤穂城・林田陣屋 荻原一青の描いた城郭絵図

堀田 浩之

荻原一青書写による洲本城絵図について

定本 義広

荻原一青の遺した城郭関連図

大国 正美

口絵の「播磨国姫路城図」について

編集部

和歌山県

◆紀南・地名と風土研究会会報

〒646-0004田辺市上万呂549-3 浅里耕一郎方 TEL0739-25-3794

年2000円 1985年創刊

◇61 2021.8 B5 22p

表紙 熊野三千六百峰 法師山頂から大塔山を望む(大塔行政局提供)

特集 紀南の山と山名

山名が語る大塔山物語

浅里耕一郎

城ヶ森山の山名を考える

玉置 芳男

那智山の地名の由来

田中 弘倫

勝浦の地名の由来

田中 弘倫

おもしろい国名の接尾語と言語(文化圏)

浅里耕一郎

地名談話室 洪沢栄一のふるさと 血洗島とは…

(あ)

◆熊野学研究 国際熊野学会

〒647-8555新宮市春日1-1 新宮市教育委員会文化振興課 TEL0735-23-3368

〒425-0035静岡県焼津市東小川3-5-33 八木勝行方 TEL090-9124-9262

年3000円 2010年創刊

◇9 2021.7 A5 49p

有吉佐和子の小説「油屋おこん」について―「流れ谷」の巻を中心に 半田 美永

和歌にみる霊山正法寺

中西 満義

楊貴妃と狐と熊野参詣ブームの始まり

◆熊野情報 熊野歴史研究会

〒647-8555新宮市春日1-1 新宮市役所商工観光課 山本殖生

TEL0735-23-3333 年3000円

◇223 2021.9 B5 2p

熊野市紀和町の史跡巡り一鉢山・北山一揆など／新宮市文化複合施設
オープン／シンポジウム「熊野新宮の聖地文化」／特別展「きのく
にの名宝」／『女人禁制の人類学』 鈴木正崇先生／『熊野歴史研究』
24号 原稿募集

◆和歌山地方史研究 和歌山地方史研究会

〒649-6258岩出市山980-2-1312 江本英雄方 年3000円 1980年創刊

<http://wakayamachihoushi.blog.fc2.com>

◇81 2021.7 A5 112p

小特集 躍動する熊野の武士団—その本拠と特質を探る

特集にあたって

室町～戦国初期の畠山一門と紀伊

川口 成人

龍松山城跡と坂本付城跡—山本氏関連城館群の調査成果から

田中 元浩

新宮城下町遺跡—熊野川河口の港湾遺跡

小林 高太

和歌山城城郭の構造変化—戦国式山城から平山城へ

水田 義一

徳川治宝の初御国入りの人足と荷馬—泉州山中宿より若山までの史料

廣本 満

熊野御師に関する新出史料の紹介とそれに関わる若干の考察

阪本敏行／藤井寿一

動向 2021年度和歌山県内展覧会情報

島 根 県

◆大社の史話 大社史話会

〒699-0751出雲市大社町杵築西2695-1 稲根克也方 TEL0853-53-4966

年2500円 1974年創刊

◇207 2021.6 B5 42p

《特集 三木与兵衛の菱根新田の開発と遙堪地域の歴史》

菱根新田の開発と三木与兵衛

多久田友秀

お知らせ 『大社の史話』と『観光史』を販売中！

事務局

遙堪小史(1) 再掲 本誌147号(平成18年6月) 福島 勉
 遙堪小史(2) 再掲 本誌148号(平成18年9月) 福島 勉
 遙堪小史(3) 再掲 本誌149号(平成18年12月) 福島 勉
 大社町の町内巡り(6) 馬場(下) 神門通りの発展 伊藤明／山崎裕二
 読者コーナー

昔懐かしい話 神々の鎮座するふるさとへ 土方 幸子
 夏の思い出(昭和13年頃) 一漁師の娘(吉田安子)
 令和3年1月～3月 出雲市大社町年表 編集部
 特別展「子ども／おもちゃの博覧会」 島根県立古代出雲歴史博物館
 手銭記念館の四季 江戸時代の『食』 手銭記念館学芸員 佐々木杏里
 ギャラリー展「暁の超特急 吉岡隆徳 出雲から世界へ！」

出雲弥生の森博物館(文責・浦上晴奈)
 表紙写真 三木与兵衛の頌徳碑(入南)と水田風景 令和3年6月撮影
 撮影・勝島徹正

岡山県

◆岡山地方史研究 岡山地方史研究会

〒700-0013岡山市北区伊福町2-16-9 ノートルダム清心女子大学文学部
 久野研究室気付・小野功裕 TEL086-252-2482 年1500円 1986年創刊
<http://historyokayama.s1009.xrea.com>

◇154 2021.9 B5 31p

備前岡山の東照宮祭礼

一藩主池田光政の時代、寛文六年から寛文一二年の致社まで 田中 豊
 流人宇喜多秀家の随行者をめぐる一村田助六の検討を中心に 大西 泰正
 博物館・展覧会めぐり

国立歴史民俗博物館企画展示「性差の日本史」を見て 上村 和史

広島県

◆備陽史探訪 備陽史探訪の会

〒720-0824福山市多治米町5-19-8 TEL084-953-6157 <http://bingo-history.net>

◇220 2021.9 A4 22p

備後国衆列伝(8) 三谷郡の安田氏 田口 義之
 中世石造物の調査報告 文責・篠原芳秀
 横坂龍王山城踏査報告 中世史部会(文・杉本憲宏)
 田口義之の備後山城50選(45) 堅堀群が見事な 大床山城

史料紹介 井上家文書「乍恐以書付奉願上候御事」	小林 悠一
中條の条里制区画を考える(1)―旧道上村の由来	瀬良 泰三
小林悠一のかんたん古文書講座 第6回	小林 悠一
郷土探訪 明治三十年の地形図から読む「松永」	岡田宏一郎
近世福山の歴史講座 水野時代 総集編	
第一回 初代勝成の時代『芦田川の流路・福山の海岸線』	高木 康彦
梶島山城について	杉本 憲宏
読者ノート 『日本書紀』の吉備国 六、吉備・前方後円墳	若林 啓文
1枚の写真から 昭和30年代の松永「松永駅と北側の商店街の風景」	
	岡田宏一郎

◆広島民俗 広島民俗学会

〒731-0211広島市安佐北区三入1-26-24 岡崎環方 TEL082-818-3497

1974年創刊 <http://fs-hiroshima.net>

◇96 2021.8 A5 60p 700円

コロナ禍の一年半	岡崎 環
2世代前の因島の民俗研究	藤井 昭
聞き書き個人史―義父の人生を振り返る	原田 隆雄
史料から読み込む民俗(3)―安芸高田市域の頼母子	菅 信博
備後一宮 吉備津神社を護る随神門と氏子	正木真理子
会員動向	
読み継がれる本をつくる「古老の人生をきく」発刊	高木 泰伸
ひろしま通訳・ガイド協会会員として	
宮島を海外の人と訪れて思うこと	畝崎 雅子

◆みよし地方史 三次地方史研究会

〒729-4304三次市三良坂町三良坂2747 中畑和彦方 TEL0824-44-2753

1987年創刊

◇115 2021.9 A4 12p

活動報告 三次市三若町所在の墓碑銘について

―身近な文化財を調べて地域の歴史を知る

広島県立三次高等学校 前原唯・津田唯名・廣田凜・山下千穂	
三次盆地の前方後円墳(21) 前方後円墳出土の埴輪	
―上川立七ツ塚第一号古墳・宮地第一号古墳出土例	加藤 光臣
史料紹介 (仮題)天保二年(一八三一) 嶋屋役成帳	立畑 春夫
享保五年 三勝寺六地藏の寄進について	中畑 和彦

みよしこばれ話(2) 友人の妻の死を悼む

◆わが町三原 みはら歴史と観光の会

〒723-0051三原市宮浦6-9-32 鈴木方 年3600円 FAX0848-63-9932

◇365 2021.8 B5 12p

今月の各地 『誉』発動機	大谷 和弘
令和3年度総会(書面決議方式)報告	事務局
足利義昭は三原へ来たか?(2)	大谷 和弘
日本の牛と馬、交通の歴史(143)	三好 邦範
三原市のカワウ対策 第2報(前期)(4)―平成24年～平成29年の取組 平成28年(2016年)	行長 啓三

◇366 2021.9 B5 12p

今月の各地 やっさ踊りの由来を考える―唄は南風に乗って	友宗 邦夫
足利義昭は三原へ来たか?(3)	大谷 和弘
日本の牛と馬、交通の歴史(15)	三好 邦範
三原市のカワウ対策 第2報(前期)(5)―平成24年～平成29年の取組 平成28年度以降の取り組み(つづき)	行長 啓三

◇367 2021.10 B5 12p

今月の各地 ちょっと昔のお話を	高杢 勉
足利義昭は三原へ来たか?(完結編)	大谷 和弘
東京オリンピック銅メダリストに繋がるファミリーヒストリー	上田 茂
日本の牛と馬、交通の歴史(16)	三好 邦範
三原市のカワウ対策 第2報(前期)(6)―平成24年～平成29年の取組 平成29年度(2017年)	行長 啓三

徳 島 県

◆史窓 徳島地方史研究会

〒771-0220板野郡松茂町広島四番越11-1

松茂町歴史民俗資料館・人形浄瑠璃芝居資料館内 TEL088-699-5995

◇51 2021.3 A5 79p 1363円

正平の地震と「康暦碑」	桑原 恵
明治三年戸籍下調帳と山村社会の構造 ―阿波国勝浦郡旧福原村を中心として	羽山 久男
史料紹介 「阿州撫養林崎古城山再見之図」及び「將軍塚」絵葉書	石尾 和仁
新刊紹介 羽山久男著『徳島藩分間絵図の研究』	岡山真知子

史窓のひろば

阿波学会総合学術調査(海陽町)への参加と企画展「鞆奥の歴史と文化」の開催

徳野 隆

四国地域史研究連絡協議会 第一三回(愛媛)大会参加記

岡本 佑弥

史窓のひろば 五〇周年記念論集の刊行

徳野 隆

徳島地方史研究文献目録(2019年10月～2020年9月)

◆徳島県立博物館ニュース

〒770-8070徳島市八万町向寺山 徳島県文化の森総合公園 TEL088-668-3636

1990年創刊 <https://museum.bunmori.tokushima.jp>

◇124 2021.9 A4 8p

長さ10メートル以上になる御守! 九重守(部分)

庄武 憲子

Culture Club 藍染めを楽しもう

小川 誠

徳島おふだコレクション～はらいたまえきよめたまえ

情報BOX 「みとものつら絵巻」に描かれた江戸供家老

一新常設展の準備の過程から

松永 友和

館蔵品紹介 徳島県産地下性・洞窟性の昆虫類標本

山田 量崇

レファレンスQ&A 徳島で“モラエスの花”と呼ばれる花は、何と

いう名前でしょうか?

茨木 靖

愛 媛 県

◆いせき ニュースレター 遺跡発行会

〒791-2101伊予郡砥部町高尾田1108-3 そがめ塾気付 FAX089-905-2925

◇152 2021.6 A4 20p

陶質土器を出土した松山市淡路峠古墳

正岡 睦夫

特集「愛媛の鉄製武器・武具」(遺跡45号)補遺

北条地域の鉄製武器・武具・馬具

井手 耕二

江戸・明治期砥部陶磁窯址(3) 砥部町七折唐津山窯址(下)

十亀 幸雄

伊予の近世石工(4) 愛媛県有石工銘石造物一覧(第3版)(下)

十亀 幸雄

◇153 2021.7 A4 20p

北条の古墳(12)

横穴式石室をT字形に配置した長方形墳―松山市北条地域

正岡 睦夫

伊予の霊山(2) 久万高原町白猪山周辺の山岳遺跡

―近世里修験と山岳修験の一樣相

遠部慎／十亀幸雄

◇154 2021.8 A4 24p

松山の古墳(2) かいなご1号墳	正岡 睦夫
伊予の霊山(3)	
宇和島市三浦権現山岩陰・山頂遺跡一彦山信仰の足跡	十亀 幸雄
槇鹿蔵の製作した陶器製の狛犬	日山 貞治

◆伊予史談 伊予史談会

〒790-0007松山市堀之内 愛媛県立図書館内 1915年創刊

◇402 2021.5 A5 51p 750円

近世後期宇和海地域における魚貫
地域史をゆく

愛媛の定数名所略記

中世山寺遺跡 国史跡等妙寺境内調査・研究の新視角
―「奈良山」とは

伊予鉄古町はどこにあったか

史料紹介 住田晋関係史料「日誌ノ拔萃」

新刊紹介 小松史談会編『飛沫藩政資料集 小松藩譜』、加藤正典著
『伊予西条藩の歴史研究余話』、北川淳一郎著『高橋さんの話』 編集部

郷土その日その日 自令和3年1月至令和3年2月 編集部(柚山俊夫)

例会記事 第1265回 愛媛県の有形文化財の種別について―「石造美術」を中心に 高嶋賢氏、弓削島庄総合調査の成果と課題 有馬啓介氏

福岡県

◆九州史学 九州史学研究会

〒819-0395福岡市西区元岡744 イースト一号館 九州大学文学部日本史学研究室内 TEL092-802-5098 1956年創刊

https://www2.lit.kyushu-u.ac.jp/~his_jap/kyushusigaku/

◇188 2021.7 B5 62p

朝鮮王国李芳遠あて「日本国王」足利義満書契について

「五校昇格」問題と東京高等工業学校

―「専門性」をめぐる教育行政の揺らぎに着目して

書評 酒井一臣著『金子堅太郎と近代日本―国際主義と国家主義』

2020年度九州史学研究会大会研究発表要旨 研究発表

対馬史料から見た前期倭寇と宗氏

西肥前における有馬氏の勢力拡大と「戦国大名」化

群馬県下における阿蘭陀通詞稲部市五郎の顕彰活動	藤本健太郎
一九七〇年代における自衛隊と日本社会—零石事故を事例として	西村 健太
二〇二〇年度大会・総会の報告	文責・松尾
近世史部会の活動報告	文責・井手

◆太宰府市公文書館報

〒818-0110太宰府市御笠5-3-1 TEL092-921-2322 2015年創刊

<https://www.city.dazaifu.lg.jp/site/dazaifushi-kobunshokan/>

◇令和2年度 2021.5 A4 55p

事業概要 報告

公文書館パネル展1の開催

「航空写真からみる太宰府のうつりかわり」

藤田 理子

公文書館パネル展2の開催

「年号が改まること—新元号「令和」によせて」

重松 敏彦

◆太宰府市公文書館紀要 年報太宰府学

〒818-0110太宰府市御笠5-3-1 TEL092-921-2322 2007年創刊

<https://www.city.dazaifu.lg.jp/site/dazaifushi-kobunshokan/>

◇15 2021.3 A4 88p

九州国立博物館誘致運動に関する資料—運動の経過と解題

小林 茂

宝満山大巡行ルート of の遺構—大南窟および中院について

山村信榮／中村茂央

宝満山十三仏磨崖仏—貞享3年銘の資料について

高橋 学

資料目録 旧社会教育課永年文書細目録2

大宰府廃止をめぐる諸問題

重松 敏彦

◆福岡地方史研究 福岡地方史研究会（発売：花乱社）

〒811-2113糟谷郡須恵町須恵820-2 石瀧豊美方 TEL092-933-0426 年5000円

1964年創刊 <https://fck.at.webry.info/>

◇58 2020.9 A5 166p 1500円

《特集 太宰府再考》

絵葉書でたどる福岡の歴史(19) 太宰府の絵葉書

石瀧 豊美

特集 太宰府再考

大伴旅人の館跡（大宰帥公邸）を探る

赤司 善彦

北野天満宮の伝説を考察する

浦辺 登

幕末太宰府と志士 松屋・栗原孫兵衛

竹川 克幸

案外わがままだった太宰府の五卿

御笠郡乙金村の大庄屋・高原家の記録	石瀧 豊美
絵葉書でたどる福岡の歴史(番外) 太宰府の史跡と絵葉書	石瀧 豊美
史料紹介 没後五十年、光頭無毛文化財・田中諭吉 「その日その日昭和五年日記」を読む 太宰府天満宮「鸛替え・鬼すべ」取材日記より	田中 美帆
百済紀行(下) 日韓交流の記憶を求めて	師岡司加幸
杉山茂丸の対中国観 寺内正毅宛書翰を手がかりとして	坂上 知之
九州に渡った島村氏 浦上家宿老・島村氏の研究(3)	島村 豊
城と道 月隈丘陵に所在する山城の例から考える(1)	山崎 龍雄
西暦四〇〇年前後の倭国と大倭国の動向	
『日本書紀』巻第七、巻第八、巻第九は語る	中村 修身
福岡藩慶長期分限帳の成立年代	大林 憲司
朝鮮通信使・相島の客船の謎 吉村恕助と有待亭、亀井南冥・昭陽との関わりを中心とに	今村 公亮
地方労働運動分析 大分県中央タクシー争議より	濱田 周作
福岡城むかし探訪館 福岡城模型ものがたり	西田 博
古文書蒐集集潭(4) 晴れたり降ったり	宮 徹男
追悼 高嶋正武氏 郷土愛と「民ヲ親ニス」の志	竹川 克幸
朝鮮通信使ユネスコ登録二周年シンポジウム報告	
一朝鮮通信使の歴史 多角的に	今村 公亮
短信往来	
史実は小説よりも奇なり	今村 公亮
国家百年の計	河本 信雄
九州に渡った島村氏	島村 豊
コブカリ	西田 博
元寇で活躍した少貳景資公の墓所	藤野 辰夫
あまびえ現象	山下 龍一
◇59 2021.9 A5 148p 1540円	
《特集 戦争の福岡》	
絵葉書でたどる福岡の歴史(20) 大演習の絵図(行橋市)(石瀧蔵)	石瀧 豊美
巻頭言 喜多岡勇平暗殺の犯人	石瀧 豊美
特集 戦争の福岡	
特集にあたってー太平洋戦争史観を検証する	
戦争の福岡 火野葦平を通して	坂口 博
福岡県戦争遺跡調査について 文献調査の観点から	渡部 邦昭
軍都・小倉市の建物疎開	梶原 康久

西伯利出兵師話 世界史として大正七、八戦役と福岡	師岡司加幸
大東亜戦争前の小作争議 農民組合の関連性を軸に	濱田 周作
少国民の労働戦士聞き書き	
福岡市内国民学校高等科生徒の勤労働員	首藤 卓茂
福岡陸軍墓地について	浦辺 登
陸軍特別大演習と福岡 高原謙次郎「大演習拝観記」の紹介	石瀧 豊美
コラム	
相島の忠霊塔	今村 公亮
林えいだいと戦争 父・寅司を中心に	森川登美江
ある学徒の死	山下 龍一
「巢鴨版画集」とＢＣ級戦犯の獄中日記	青山 英子
幕末佐賀藩におけるいわゆるアームストロング砲の製造をめぐる(3)	
田中久重と石黒直寛関係史料および文献からのアプローチ	河本 信雄
慶長期福岡藩の支城 一次史料と可視領域からの再検討	西田 博
古文書蒐集折々譚(5) 宮崎安貞を尋ねて	宮 徹男
メディア随想	
テレビ・ラジオのドキュメンタリー作品と地方史(上)	松尾 允
短信往来	
小倉城内にある忠霊塔の調査経緯	今村 公亮
嘘つきは泥棒の始まり・勝てば官軍負ければ賊軍	河本 信雄
令和と共に来た男	向野 正弘
島原城下町絵図の写本系譜	西田 博
新参者と古代学	花田 俊雄
二日市保育所を調べて	馬場崎由美
記録作家 林えいだい記念ありん文庫資料室	森川登美江

宮 崎 県

◆石の証言 「八紘一宇」の塔を考える会

〒880-0026宮崎市波島2-30-2 佐藤文則方 年2000円 1995年創刊

<https://hakkouitiunotou.jimdo.com>

◇104 2021.9 A4 8p

石の証言 綏遠省安北 綏遠省安北 基壇の土留めの下に置かれて
いる規格外の石。かなり大きい

情勢 軍政との武力闘争宣言 ミャンマー民主派政府／黒い雨訴訟、
国が上告を断念 期限前に首相表明、救済に道／新田原基地飛行回

数1.5倍可能性 F35B 配備計画／平和学習、拠点化期待 宮崎市
 が掩体壕整備完了し公開
 第6回宮崎集会での現地見学会での学び 「第6回空襲・戦災・戦争
 遺跡を考える九州・山口地区交流会宮崎集会」 高谷 和生
 小松市立永久津中学校3年生の修学旅行 「八紘一字」の塔を見学して
 中学生の感想／永久津中学校3年担任 阪口陽子／永久津中学校校
 長 原田康徳
 「塔」と私 南 邦和
 医療福祉生協連合(東京都新宿区)情報誌『コムコム comcom 8月号』
 「八紘一字」の塔を考える会の30年(4) 税田啓一郎

沖縄県

◆宮古郷土史研究会会報

〒906-0013平良市下里1223-8 下地和宏気付 TEL0980-72-9963
 年3000円 1977年創刊 <https://kyodoshiken.ti-da.net>

◇246 2021.9 B5 4p

9月定例会レジメ

地下ダムの先駆者たち—地下ダムが実現するまで(再掲載) 池城 直
 7月例会まとめ 袖山の壕群を訪ねて 森谷 大介
 福建→先島諸島の流通圏 下地 和宏
 忠導氏正統18世 仲宗根玄吉医博三回忌 仲宗根將二

寄贈図書紹介

◆一般社団法人日本民俗建築学会創立70周年記念公開シンポジウム

信仰と環境—日常の住環境に見られる霊的な場

日本民俗建築学会編・刊 (〒162-0843 東京都新宿区市谷田町2-33 法政大学デ
 ザイン工学部建築学科内 <http://www.folkhouse.org>) 2021年10月 A4 12頁
 日本民俗建築学会の創立70周年記念公開シンポジウム(2021年10月16日(土) オ
 ンライン開催)のプログラム集。シンポジウム:信仰と環境—日常の住環境に見
 られる霊的な場—の主旨(岸本章)／講演:神を迎える場所—折口信夫の「まれび
 と」論に導かれて(安藤礼二)／講演:霊的景観 ラオス深南部の水辺集落で生き
 られる霊的世界(清水郁郎)

◆海津郡要覧(復刻版)

岐阜県海津群役所発行 岐阜県郷土資料研究協議会(〒500-8368 岐阜県岐阜市

宇佐4-2-1 岐阜県図書館内 TEL058-275-5111) 2020年9月 210×110mm 8+221頁
(口絵12丁) 発行所: 岐阜県海津郡役所(大正12年4月20日印刷、大正12年4月24
日発行) 印刷者: 河田貞次郎(岐阜県大垣市郭町百五十三番戸) 印刷所: 西濃
印刷株式会社(岐阜県大垣市郭町百五十三番戸)

明治12年(1923)4月に発行された『海津郡要覧』(岐阜県図書館所蔵)の復刻版。
岐阜県海津郡の主な統計資料(大正10年度)を収録する。口絵/第一 地勢ト沿革
/第二 土地/第三 氣象/第四 戸口/第五 官公署/第六 社寺/第七 古
刹勝地/第八 教育/第九 社會事業/第一〇 農業/第一一 蠶絲業/第一二
畜産/第一三 林業/第一四 商工業/第一五 金融/第一六 水産/第一七
治水土木/第一八 交通/第一九 警察/第二〇 衛生/第二一 議會/第
二二 財政/第二三 諸団体/第二四 略圖、里哩表/岐阜県海津郡署圖 縮尺
二十万分之一、養老鐵道表、郡内里程表、高須町電話加入者名及番號、今尾町電
話加入者名及番號

◆奥三河宗教文獻資料集一陰陽道と民俗信仰

松山由布子編(〒739-8524 広島県東広島市鏡山1-1-1 広島大学森戸国際高等教
育学院 FAX082-424-7081) 2021年3月 A4 147頁

科学研究費補助金若手研究「近世奥三河の民俗信仰に関する説話伝承研究」(研
究代表: 松山由布子)の成果。愛知県奥三河地域に伝来する民間の儀礼詞章につ
いて翻刻・紹介する。はじめに一本報告書の概要(松山由布子)/呪法・占法編
『行法救呪』(豊根村田鹿・守屋家)(画像、翻刻、解説)(西岡芳文)、『占法書』(東
栄町小林・伊藤(田ノ口)家)(画像、翻刻、解説)(マティアス・ハイエク)/祭文
編『牛頭天王嶋渡り祭文』翻刻一覧、『牛頭天王五段式』翻刻一覧、解説『牛頭
天王嶋渡り祭文』と『牛頭天王五段式』、『御歳徳神祭文』(豊根村山内・榊原家)、
『牛頭天王祭文』(豊根村山内・榊原家)、『神送之本戒』(豊根村山内・榊原家)、
解説 榊原家の祈禱祭文(松山由布子)/補論 在地陰陽師の記録 東三河の陰陽
師・小川膳正の活動について(松山由布子)/おわりに(松山由布子)

◆西宮の橋梁 西宮歴史調査団調査報告書3 西宮市文化財資料第68号

西宮市立郷土資料館編(〒662-0944 兵庫県西宮市川添町15-26 TEL0798-33-
1298) 西宮市教育委員会(〒662-0918 兵庫県西宮市六湛寺町8-26) 2021年3月
A5 60頁

西宮市立郷土資料館と西宮市文化財調査ボランティア「西宮歴史調査団」の橋梁
調査班が平成18年5月から令和2年9月まで実施した西宮市内に所在する橋梁の調
査報告書。第1章 西宮歴史調査団橋梁調査班の調査について(調査の目的と調
査対象、調査の経過、調査の概要)/第2章 橋のある風景(香櫨園人道橋と桜、
初夏の武庫大橋、湖に架かる金仙寺橋、イチヨウのたもと的小松橋、冬枯れの並
木とこほろぎ橋、コラム1 新堀川の存続、コラム2 橋灯コレクション、コラ

ム3 ぼつんと親柱)／第3章 橋の命名(国道2号線の夙川橋、架橋に尽力した人につながる橋、市民が名づけた橋、今津の酒造家が命名した橋、コラム4 最長の橋と最古の橋)／第4章 橋からみる西宮の歴史(まちの変化と橋、コラム5 二重橋と三重橋、川の整備と橋の改修、コラム6 3つの名前を持つ川と境界の橋、明治の甲東の石橋、コラム7 明治時代までの地名がのこる橋、コラム8 西国街道の痕跡がのこる橋、コラム9 街道の交差点にあった橋)／参考文献／第5章 橋梁位置図／第6章 橋梁一覧表

◆街道と生きる—宿駅生瀬の歴史と文化財

西宮市立郷土資料館第36回特別展示展示案内図録

西宮市立郷土資料館編・刊(同上) 2021年7月 B5 15頁

西宮市立郷土資料館第36回特別展示(令和3年7月17日～8月29日)の展示案内図録。昭和45年、平成25年度(2013)から実施した西宮市生瀬地区文化財総合調査の成果をふまえて、浄土宗西山派の開祖証空上人によって開かれた浄橋寺の寺宝を中心とする生瀬地区の文化財を通して、鎌倉時代に平家の残党が成したと伝えられる“みちのまち”生瀬の姿を明らかにする。はじめに／浄橋寺文書—生瀬村の記録／みちのまち生瀬／宿駅生瀬／御用通行／“馬借村”生瀬／道をめぐる争い／浄橋寺の宝物／表紙 摂州有馬郡生瀬村馬借村絵図(延宝5年(1677) 浄橋寺所蔵)

◆講座・古代王権の興亡 第13回 日本の神話について(その10)

記紀の成り立ちについて 妙見山麓遺跡調査会紀要42

神崎勝著 NPOみょうけん(〒679-1214 兵庫県多可郡多可町加美区的場294 TEL0795-35-0555 <http://www.eonet.ne.jp/~myouken-iseki>) 2021年9月 A4 20頁 NPOみょうけん(妙見山麓遺跡調査会)主催の新講座「古代王権の興亡」第13回の記録。記紀の成り立ちについて(A 欽明朝ごろの歴史編纂、B 推古・舒明朝における「天皇記」の編纂、C 皇極～斉明朝における神代史の編纂と直系継承制の模索、D 天武朝のふたつの事業、E 元明・元正朝の修史事業)／質疑／付論「現人神」観念について(平林章仁)／参考文献

◆明治の新聞にみる北摂の歴史

小田康徳著 神戸新聞総合出版センター(〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1-5-7 TEL078-362-7140) 2021年9月 A5 310頁 2200円

明治10年代末期、長かったデフレが終わる頃からの池田・伊丹・箕面・豊中・川西・宝塚・有馬・能勢ら、北摂地域の変容と新聞の対応を、明治10年～22年の新聞記事から読み解いていく。はじめに—新聞と地域、変化の探究／関連地図 明治20年ごろの北摂概念図、北摂の郡配置図／第1章 明治10年代前半、大都市から離れた地域と人間の描写(水と山をめぐる争いの報道、景観地・保養地への注目、伊丹と池田=中心的町場と人物の発見、町場から離れた各地集落の状況)／

第2章 明治10年代後半、社会の全般的萎縮化と苦闘する人びと（不況の長期化
行政の対応と追いつめられる庶民の暮らし、豊島郡 明治19年夏の水不足、行
政主導の農業と地域対策）／第3章 明治20年前後、国家の権威と新しい活動状
況の広がり（国家の権威と国民指導、住民による地方自治行政への協力 また生
き方の探究、産業創出をめぐる）／第4章 新聞広告が広げた北摂の世界（生
産・販売等に関わる広告、保養地・景勝地に関わる広告）／第5章 地域に基盤
を持つ公的職業政治家の出現（地域的活動の始まり、地価引下の誓願運動と能
勢・豊島両郡の分裂、選挙と政治グループ）／まとめにかえて一草創期の新聞と
都市および都市周辺地域の変容／あとがき

◆後記

まもなく、『地方史文献年鑑2020—郷土史研究雑誌目次総覧24』（白鳥舎発行、
岩田書院発売）が刊行になります。当年鑑は全国の研究団体から当該年に寄贈い
ただいた雑誌一年分のデータを基に、欠落や欠号がないか完全を期して、都道府
県立図書館と個人に補充調査をお願いしています。幸いにも、43道府県立図書館、
1公益法人とお二人の方に協力をいただいています。それにより、2020年版には
1493誌を収録することができました。一出版社の刊行物に、これほどの公立図書
館・専門機関と個人の方が長年にわたって協力してくださることは奇跡のような
気がします。面倒な調査であると思いますが、公立図書館にあっては、郷土資料
の収蔵状況をチェックするいい機会であると前向きにとらえてくださるところも
あります。ありがたいことで、感謝するほかはありません。地方史文献情報を集
約し、提供することの意義を共有してくださっているのだと、手前味噌の解釈を
しています。併せて、研究団体におかれては、引き続き雑誌の提供をお願いする
次第です。

本誌147(2021.1)の当欄で記しました書誌研究家 深井人詩さんの追悼録『書誌
は詩のごとく—深井人詩先生を慕って』（深井人詩先生追悼録刊行会発行、岩田
書院製作）が完成しました。若干数を岩田書院で販売しています（本体価格3000
円）。お問合せください。（飯澤）

地方史情報 152 2021年(令和3年)11月1日 発行

編集・制作 : 白鳥舎 hakucho@eris.ais.ne.jp

ウェブサイト公開: 岩田書院 <http://www.iwata-shoin.co.jp>

〒157-0062 東京都世田谷区南烏山4-25-6-103 TEL03-3326-3757

*本誌は、140号より、PDF版のみの発行です。